

# 事業概要書

令和5年度

上田地域振興局

# 目 次

管 内 概 況	.....	1
行 政 組 織 及 び 現 在 員	.....	4
事 業 概 要		
総 務 管 理 課	.....	1-1
企 画 振 興 課	.....	2-1
環 境 課	.....	3-1
農 地 整 備 課	.....	4-1
林 務 課	.....	5-1
商 工 観 光 課	.....	6-1
農 業 農 村 支 援 セ ン タ ー	.....	7-1

# 管 内 概 況

## 1 地 勢

県の東部、千曲川中流部に位置し、上田市、東御市、長和町及び青木村の4市町村からなり、面積は905.37km<sup>2</sup>で、県総面積の6.7%を占めている。

地形は、千曲川右岸は、烏帽子火山の流出で緩傾斜をなし、左岸西部は、平坦地で塩田平と呼ばれ、南部の依田窪地域は、和田峠に源を発する依田川の流域に存している。

## 2 人 口

令和5年4月1日現在、管内の人口は190,208人で、県総人口の9.5%を占めている。

令和2年国勢調査時と比較すると1.9%の減少となっており、市町村別では、上田市は1.8%減、東御市は2.0%減、長和町は3.5%減、青木村は3.7%減となっている。

また、老年人口割合は32.2%と、県平均32.9%を僅かに下回っているが、全県の状況と同様に上昇傾向を示している。特に、町村部においては42.2%と高齢化が進行している。

## 3 交 通

管内を北西方向に流れる千曲川にほぼ並行して上信越自動車道、北陸新幹線、しなの鉄道及び国道18号があり、沿線に市街地・商工業地帯を形成するとともに、長野地域と佐久地域や首都圏を結ぶ重要な交通網が構成されている。さらに、千曲川の西側に広がる塩田平には上田電鉄別所線が通っている。

現在、次世代の広域交通圏を担う上信自動車道などの高規格道路の計画推進と、それを補完する道路として位置付けられる国道144号上野バイパス、国道143号青木峠バイパス等の整備や、地域の生活を担う国道254号三才山トンネルへのアクセス強化、通学路等の交通安全対策推進事業(通学路合同点検箇所)などに取り組んでいる。

## 4 気 象

管内の平均年間降水量は約900mmであり、年間を通じて降水量が少ないため、穀倉地帯である塩田平では、水不足を補うために、古来よりため池を造り、また、依田川・千曲川から大規模な取水を行い、かんがい用いている。

年平均気温は約12℃であるが、最高気温と最低気温の差が大きい典型的な内陸性の気候である。

## 5 産 業

新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中で、ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた経済対策が重要となっている。

農業は、少雨多照な気候条件と、標高420mから1300mの標高差を活かし、多様な作物が生産されている。農業経営体数は3,133(2020農林業センサス)で、5年前に比べ22.4%減少している。このため、管内の関係機関・団体が連携して新規就農者確保や就農後の支援に取り組むとともに、担い手への農地集積や果樹園地の継承、農地や農業水路等の

保守・管理など、営農環境の整備を進めている。また、販売力の高い品目・品種への転換、連絡協議会等との連携による千曲川ワインバレー構想の推進に取り組んでいる。

林業は、県内有数のカラマツ産地であり、その多くが木材として利用可能な林齢を迎えていることから、「森林環境譲与税」や第4期のスタートとなる「長野県森林づくり県民税」等を活用し、主伐・再造林等による森林整備や地域材の利用促進、民間企業等との連携強化等を進め、地域林業の活性化や持続的な森林経営を図るとともに、森林の二酸化炭素吸収機能や木材の炭素固定機能の発揮によるゼロカーボンの推進に取り組んでいる。

商業は、上田市、東御市を中心に商圈が形成されている。令和3年度の商圈調査によると、上田市(合併前)の吸引力係数は137.5%と全県で第4位となっており、上田地域の商業の中心となっている。しかしながら、上田地域から他地域への流出により、近年の商圈人口は減少しているほか、買い物客の大型店志向により、中心市街地の商店は厳しい状況にある。

工業は、電気機械器具製造業や輸送用機械器具製造業を中心に加工組立型企業が多く集積している。管内には、信州大学繊維学部を始め、公益財団法人長野県産業振興機構上田センターや一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)等が存在し、これらの機関が相互に連携を図りながら、企業の新技術・新商品開発や今後成長が期待される分野への事業展開を支援している。

観光は、国宝や重要文化財など名所・旧跡が数多く残るほか、高原や温泉地など多彩で魅力的な観光資源を有している。しかしながら、近年は、観光地利用者数及び消費額が減少傾向となっている。特に令和2年以降は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和元年と比較してほぼ半減となったが、令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行され、生活面の制約が緩和されたことなどから回復傾向となっている。

面積、人口等

(令和5年4月1日現在)

市町村名	面積	世帯数	人口			老年人口割合	人口密度(1k㎡当たり)	1世帯当たり人口	2年国調人口対比
			計	男	女				
上田市	k㎡ 552.04	世帯 65,438	人 151,315	人 74,167	人 77,148	% 31.6	人 274.10	人 2.31	% 98.2
東御市	112.37	11,469	29,523	14,544	14,979	32.0	262.73	2.57	98.0
長和町	183.86	2,315	5,403	2,697	2,706	43.2	29.39	2.33	96.5
青木村	57.10	1,546	3,967	1,911	2,056	40.7	69.47	2.57	96.3
計 (A)	905.37	80,768	190,208	93,319	96,889	32.2	210.09	2.35	98.1
県計(B)	13,561.56	844,256	2,007,647	981,739	1,025,908	32.9	148.04	2.38	98.0
(A)/(B)%	6.7	9.6	9.5	9.5	9.4				

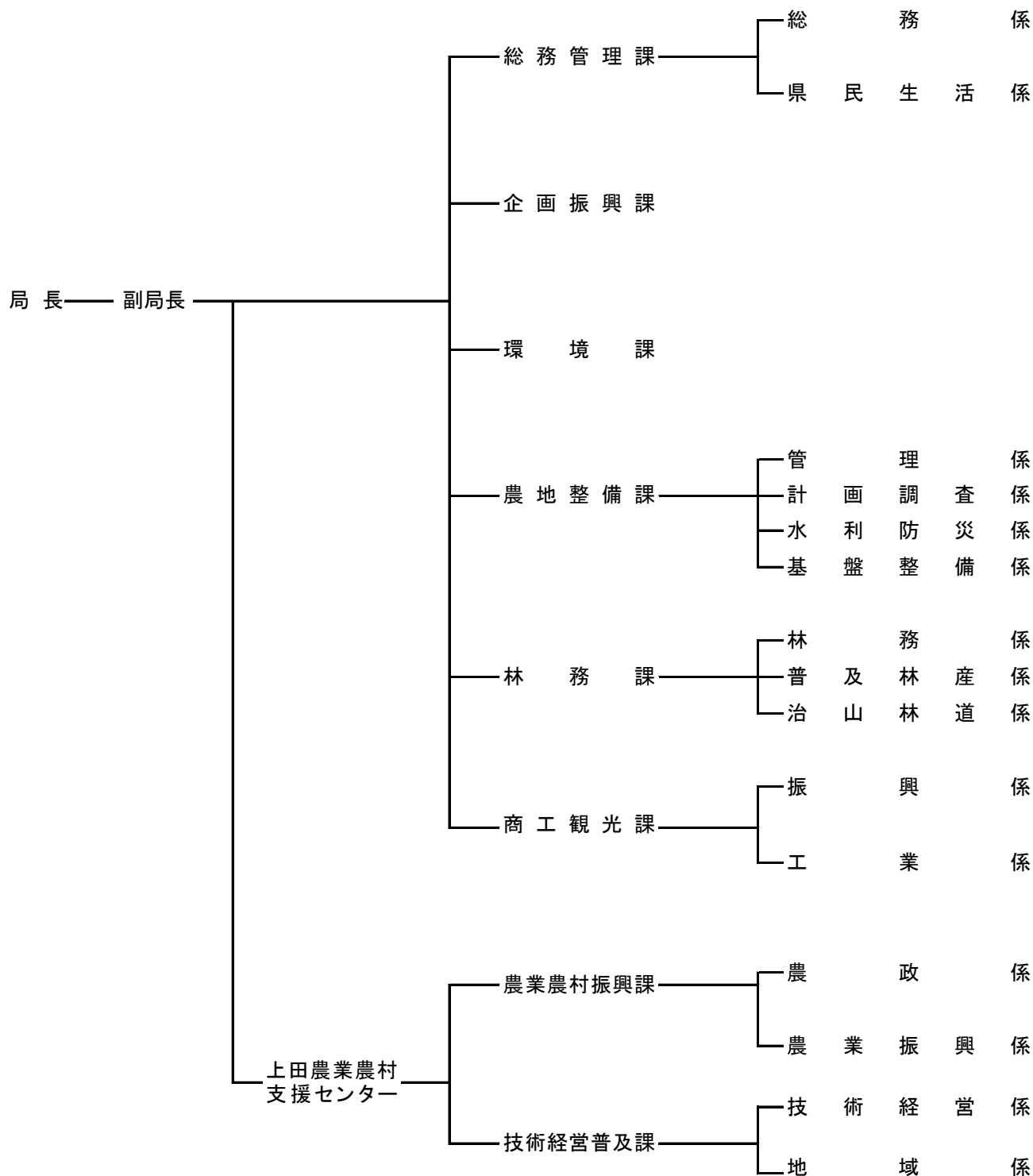
(注) 面積は、国土地理院による(R5.1.1現在) 世帯数・人口は、毎月人口異動調査による(R5.4.1現在)

# 行政組織及び現在員

# 行政組織及び現在員

## 1 組織

(令和5年4月1日現在)



## 2 課別職員数

(令和5年4月1日現在)

区 分	現在員 人	(内 訳)		備 考
		事務 人	技術 人	
総務管理課	10	10		・局長、副局長を含む。 ・市町村派遣職員1名(長和町)除く。
企画振興課	6	6		
環境課	6	4	2	
農地整備課	16	4	12	・臨時的任用職員1名含む。
林務課	14	2	12	
商工観光課	8	4	4	
上田農業農村 支援センター	20	3	17	
計	80	33	47	



# 総務管理課

# 1 消防防災

## (1) 市町村消防の現況

管内における消防体制は、4市町村で構成される上田地域広域連合消防本部(8消防署)が設置され、常備消防体制となっている。

消防団員数は、全国的に減少傾向にあるが、管内でも全ての市町村において条例定数を割っており、同時に団員の高齢化も見られる。

消防職員及び消防団員数

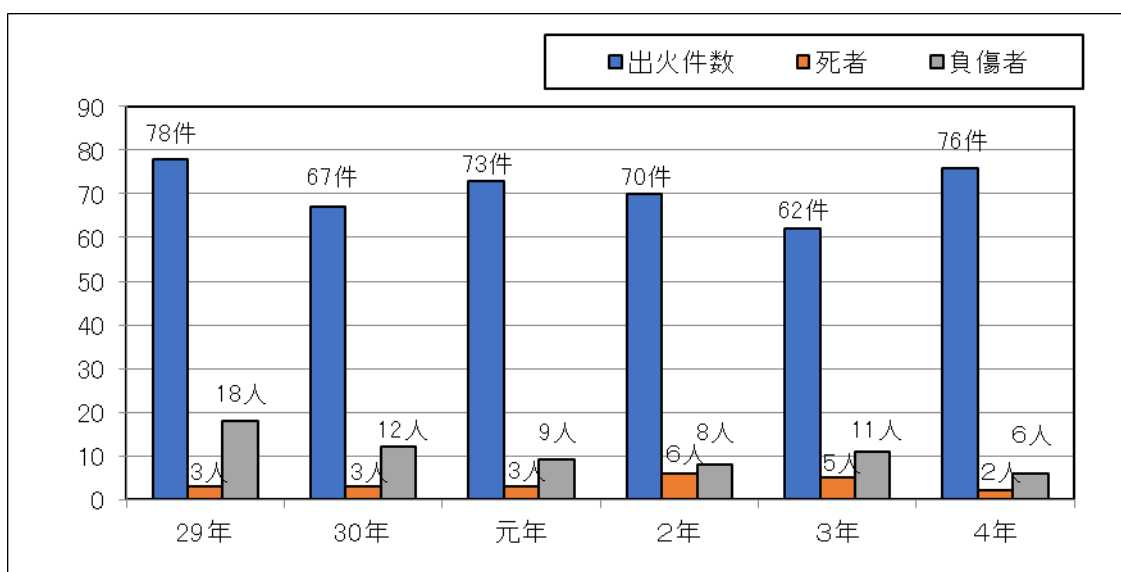
(令和5年4月1日現在)

(※令和4年4月1日現在)

区 分		条例定数(人)	現員数(人)	充足率(%)
消防職員	管内	218	209	95.9
消防団員	管内	3,200	2,821	88.2
	全県※	34,992	30,887	88.3

## (2) 管内火災発生状況

(上田地域広域連合消防本部発表)



## 2 人権

人権問題の解決に向けて平成22年2月に策定された「人権政策推進基本方針」に基づき、人権が尊重される社会づくりを目指して、関係機関等と連携を密にしながら、研修及び啓発活動を推進している。

## 3 男女共同参画

男女共同参画社会の実現のために平成14年12月に施行された「長野県男女共同参画社会づくり条例」及び令和3年6月に策定された「第5次長野県男女共同参画計画」に基づき、研修及び啓発活動を推進している。

## 4 外国人住民数の動向

管内の人口に対する外国人住民の割合は、県内10広域の中で上伊那に次いで2番目に大きい。

### (1) 推移 (単位:人、各年12月末現在、県多文化共生・パスポート室調)

区 分	H30	R 元	R2	R3	R4
管 内 (全県の構成率)	4,665 (13.1%)	4,664 (12.4%)	4,435 (12.4%)	4,319 (12.4%)	4,685 (12.3%)
全 県	35,493	37,533	35,777	34,867	38,101

### (2) 国別内訳(上位5国籍) (単位:人、R4.12月末現在、県多文化共生・パスポート室調)

区 分	合計	中国	ブラジル	ベトナム	タイ	韓国	その他
管 内 (構成比)	4,685 (100%)	987 (21.1%)	785 (16.8%)	535 (11.4%)	325 (6.9%)	323 (6.9%)	1,730 (36.9%)
区 分	合計	中国	ベトナム	フィリピン	ブラジル	韓国	その他
全 県 (構成比)	38,101 (100%)	8,054 (21.1%)	5,930 (15.6%)	4,914 (12.9%)	4,888 (12.8%)	3,051 (8.0%)	11,264 (29.6%)

## 5 消費者対策

消費者取引の適正化及び安全の確保を図るため、製品の安全、品質に対する立入検査を行っている。

### 立入検査実施状況(令和4年度)

区 分		店舗数	検査数	違反件数	備 考
安全 表示	特定製品	2 店舗	9 点	なし	ライター
	特定保守 製 品	1 店舗	2 点	なし	石油給湯器・石油ふろがま
品 質 表 示		8 店舗	83 点	なし	繊維製品・雑貨工業品 等

平成24年度から、立入検査に係る権限が市へ委譲され、当局で実施する検査は町村に所在する店舗が対象となっている。

## 6 交通安全対策

交通事故のない社会を目指して、市町村、関係機関及び団体と緊密な連携のもとに交通安全運動を推進している。

### (1) 交通事故発生状況(1月～12月)

令和4年に管内で発生した交通事故は、事故件数、死者数、傷者数ともに前年を上回った。

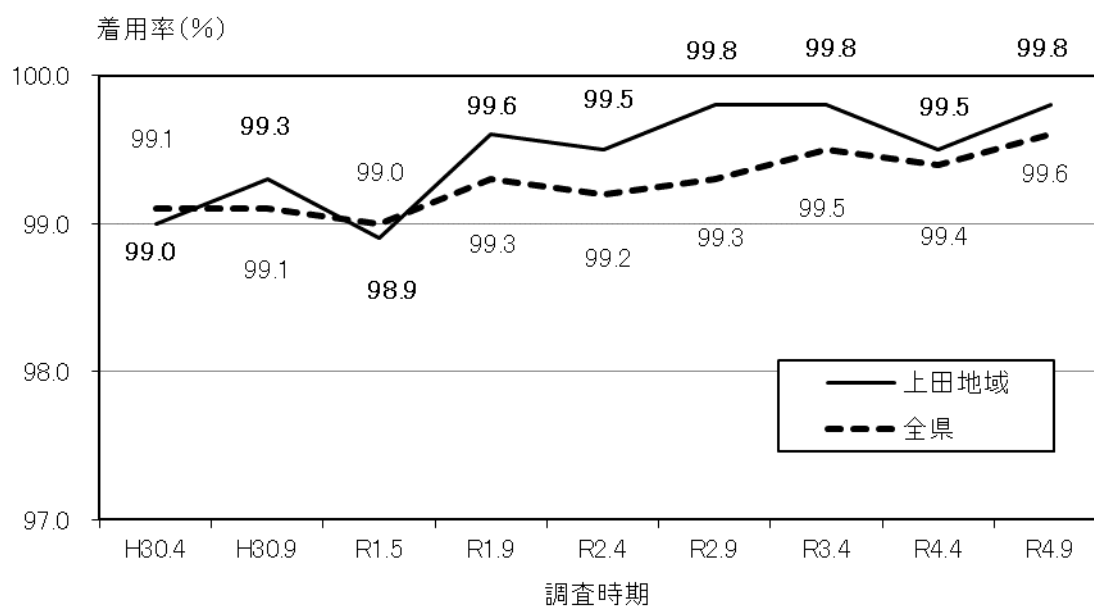
区 分	管 内			全 県		
	事故件数 件	死者数 人	傷者数 人	事故件数 件	死者数 人	傷者数 人
R 4	456	7	533	4,752	46	5,611
R 3	446	4	526	4,772	45	5,696
増減	10	3	7	△20	1	△85
増減率	2.2%	75.0%	1.3%	△0.4%	2.2%	△1.5%

(出典:くらし安全・消費生活課作成「R4.12、R3.12 交通事故統計(交通安全)」より)

### (2) シートベルト着用の推進

春・秋にシートベルト着用調査を実施している。管内の着用率は令和4年9月時点で99.8%となっている。

(令和3年9月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため県通知により調査を中止)



### (3) 交通事故相談

令和4年度相談件数2件（令和3年度 35件、令和2年度 22件）

交通事故相談所上田支所は平成29年度末で廃止となり、現在は長野本所相談員による巡回相談（予約制）を毎月第2・第4水曜日に実施している。

## 7 NPO

NPO相談窓口を設置し、法人設立に関する相談や認証申請書の受付業務等を実施している。県知事から認証された管内のNPO法人数は、令和4年度末で98法人となっている。

### NPO法人数の推移

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
管 内 (全県の構成率)	97 (9.6%)	96 (9.5%)	92 (9.3%)	93 (9.5%)	98 (10.1%)
全 県	1,010	1,013	994	981	975

(小数点第2位を四捨五入)

## 8 旅券

旅券申請件数は新型コロナウイルス感染症の影響により令和2～3年は大幅に減少したが、令和4年は回復傾向にある。なお、県民の利便性を考慮し、火・木曜日については午後7時まで延長して窓口を開設している。また、令和5年3月27日から旅券の更新申請が電子申請で対応可能となった。

### 旅券申請件数の推移

(単位:件・%)

区 分	H30	H31・R1	R2	R3	R4
管 内	5,621 (103.6) [10.9%]	5,779 (102.8) [10.9%]	1,601 (27.7) [11.2%]	562 (35.1) [10.8%]	1,189 (211.6) [9.6%]
うち延長時	811 (120.1) [13.0%]	675 (94.4) [11.8%]	183 (27.1) [13.4%]	59 (32.2) [15.6%]	138 (233.9) [11.9%]
全 県	51,482 (105.0)	52,966 (102.9)	14,254 (26.9)	5,194 (36.4)	12,325 (237.3)
うち延長時	6,217 (108.7)	5,720 (109.3)	1,362 (23.8)	377 (27.7)	1,159 (307.4)

( )は対前年比

下段[ ]は全県構成率

## 9 青少年健全育成

### (1) 健全な社会環境づくり

市町村や関係団体と連携しながら街頭啓発などの広報活動を行うことにより、青少年健全育成の推進と社会環境の浄化に努めている。

青少年に有害な自動販売機の設置状況 (各年11月末日現在)

区分	R1		R2		R3		R4	
	台数	箇所	台数	箇所	台数	箇所	台数	箇所
上田市内	6 (8.0)	2 (11.1)	6 (8.0)	2 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
全 県	75	18	75	18	63	12	52	10

( )内の数値は全県構成率(%)

### (2) 将来世代応援県民会議上田地域会議

上田地域の将来を担う子どもや若者を育成するために、地域に根差した取り組みを推進している。

(設 置) 平成29年9月

(構 成) 県・市町村、社会福祉協議会、青少年育成関連団体など21団体

(活 動) 令和4年度は、構成員に向けて合同庁舎で行われるフードドライブへの協力を依頼した。集まった食品は地域内のこどもカフェや日本語教室など子どもの居場所に贈った。

## 10 信州こどもカフェの推進

関係団体の連携・情報交換の場として、「信州こどもカフェ推進上田地域プラットフォーム」を設置し、地域一体となって子どもの居場所づくりを推進している。

(プラットフォーム開設) 平成29年12月

(参加者) こどもカフェ運営者、子ども支援関係団体、県・市町村等

(活 動) 令和4年度は、むすびえこども食堂基金助成事業を展開し、①こどもカフェ運営団体への支払い助成金、②夏場開催時における飲料提供、③上田地域のこどもカフェ情報カードの更新及び地域内全小中学校児童生徒への配布、④食料支援ネットワークの構築等を実施した。また、こどもカフェとプラットフォームメンバーとの情報交換会を全体会と同時開催するとともに、長野労金(毎年「ろうきんこども基金」を拠出)との情報交換会を世話人会と同時開催した。さらに3回目となる飲食補助券事業を実施するなど、コロナ禍におけるこどもカフェと子どもの支援に多角的に取り組んだ。

### ○ 信州こどもカフェ

学習支援、食事提供、悩み相談、学用品のリユースなど、家庭機能を補完する複数

の機能を持つ子どもの居場所の総称である。

管内では、令和4年度末現在、17ヵ所で運営されている。

## 11 危機管理への対応

### 新型コロナウイルス感染症への対応

#### (地方部設置)

- ・ 令和2年1月29日 長野県新型コロナウイルス感染症対策本部  
上田地方部設置
- ・ 令和2年3月26日 特措法に基づく県対策本部上田地方部設置
- ・ 令和5年5月8日 長野県新型コロナウイルス感染症警戒・対策本部  
上田地方部設置

#### (主な対応)

- 管内市町村への支援及び連絡調整
  - ・ ワクチンチームの設置 (R3. 2. 3)  
(住民接種に係る課題等を聴取)
  - ・ ワクチン接種体制整備連絡会議の設置 (R3. 2. 10)
- 保健所支援
  - ・ 兼務職員、業務補助当番の派遣
  - ・ PCR検査、疫学調査補助
  - ・ 感染動向、陽性者データ入力、分析
  - ・ 検体搬送業務の支援
  - ・ HER-SYS 入力支援
- 広報・啓発 (ガイドライン周知・推進チーム)
  - ・ 歓楽街の店舗を個別訪問し、感染防止対策の徹底等と呼びかけ  
(令和2年度：5回、令和3年度：10回実施)
  - ・ 街頭啓発  
(令和3年度：上田駅、商業施設及び管内道の駅にて実施)
  - ・ 集客施設における館内放送依頼 (上田駅3鉄道事業者、大型商業施設等)
  - ・ 上田駅にタペストリー、合同庁舎に懸垂幕掲出 (地域振興推進費活用)
  - ・ 広報車による巡回
  - ・ 道路電光表示板による広報 (建設事務所に依頼)
  - ・ ブログによる情報発信 (随時)
- 産業・雇用 総合サポートセンターの設置 等

#### 【まん延防止等重点措置期間中 (R4. 1. 27～3. 6) の主な対応】

- 飲食店の時短要請への対応
  - R4. 1. 27～29 1,799店 (外部委託等による外観調査)  
60店 (電話及び現地調査)
  - R4. 2. 22～3. 4 44店 (情報提供があった店舗の現地調査)





# 企 画 振 興 課

## 1 市町村行財政運営

地方分権時代にふさわしい自主・自律的な自治の確立を求められている市町村において、地域住民との協働を図りつつ、透明性の高い行政運営、健全な財政運営が行われるよう、定員管理、給与実態、財政状況などの各種調査を通じて、各団体の状況を把握するとともに、必要に応じて助言を行っている。また、広域行政についても、上田地域広域連合や上田地域定住自立圏が主催する各種会議への参画等を通じ、必要な助言や情報提供を行っている。

区分		上田市	東御市	長和町	青木村	県内市町村 平均	
職員数	人	986	234	77	46	-	
平均給与月額	百円	3,224	3,077	3,202	3,125	3,146	
	平均年齢	歳	41.8	41.2	42.9	43.3	-
ラスパイレス指数		99.5	98.8	98.2	93.9	97.5	
歳入総額	千円	80,286,444	18,891,074	6,961,501	3,469,874	15,783,521	
	市町村税	千円	21,159,250	4,027,864	716,560	402,021	3,829,957
	比率	%	26.4	21.3	10.3	11.6	24.3
	地方交付税	千円	15,751,801	4,852,433	3,080,899	1,763,444	3,818,208
	比率	%	19.6	25.7	44.3	50.8	24.2
歳出総額	千円	77,219,580	17,922,803	6,638,688	3,281,225	15,049,744	
	人件費	千円	12,123,972	2,920,288	887,819	740,443	2,337,470
	比率	%	15.7	16.3	13.4	22.6	15.5
	公債費	千円	6,796,051	1,965,124	763,833	188,495	1,361,566
	比率	%	8.8	11.0	11.5	5.7	9.0
標準財政規模	千円	41,150,324	9,464,979	3,880,495	2,248,811	8,376,465	
地方債現在高	千円	66,623,907	19,094,583	6,351,021	1,745,335	12,230,092	
積立金現在高	千円	21,255,841	4,663,641	3,068,225	1,961,274	5,944,850	
	財政調整基金 現在高	千円	4,073,814	1,608,009	1,700,064	1,032,439	2,155,901
財政指標	経常収支比率	%	85.5	91.8	82.7	76.0	82.9
	実質公債費比率	%	5.3	7.5	11.4	7.1	6.1
	財政力指数		0.59	0.49	0.23	0.23	0.39

(注) 1 「職員数」、「平均給料月額」、「平均年齢」については、「令和4年地方公務員給与実態調査」による一般行政職員(企業職員等を除く)の数等である。

2 「歳入総額」以下の財政状況の各項目については、「令和3年度決算統計調査」による。

## 2 地域振興

### (1) 地域振興推進費

地域振興局長のリーダーシップのもと、他の現地機関と連携調整を図りながら、地域課題の解決や地域の活性化等に向けた取組を実施する。

#### 【 令和4年度実績 】

1 移住に結びつく人と知の流れの創出と地消地産や産業振興による地域の活性化				
① 多様な人材の移住・定着・交流促進による地域を担う人材の育成・確保				
事業名	事業概要	事業費 (千円)	実績・成果	担当課
若者の地域への就業促進	キャリア教育の普及・拡大を図るため、中学校における産学官協働のキャリア教育（職場体験学習、企業の職場インタビュー）の実施を支援することを通じ、若者の地域での就業を促進する。	880	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（株）コミュニケーションズ・アイに委託し実施した。</li> <li>・上田市内の2つの中学校において、事前学習会を1回、職場体験を2日間ずつ実施。</li> <li>①上田市立第五中学校（2学年 在籍162人） 事前学習会・・・6月28日に実施 職場体験・・・7月13日、7月14日に実施 （※受入事業所数/54者）</li> <li>②上田市立第二中学校（2学年 在籍100人） 事前学習会・・・7月8日 職場体験・・・7月19日、7月20日に実施 （※受入事業所数/38者）</li> <li>・上田地域の76者の事業所に職場体験の受入をしていただけ、事業実施後のアンケートでは、地元で働くことへの興味が高まった生徒の割合は、74%となった。</li> </ul>	商工観光課
上田地域移住・交流促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上田地域を含む東信エリア全体の魅力について、移住や交流による地域活動にフォーカスした情報発信やイベントの開催</li> <li>・市町村毎に活動する移住アドバイザーや信州暮らしパートナーの活動のバックアップ</li> <li>・アンケート調査を補完する定性情報の収集や、市町村毎の人口動態、他の定量情報分析を行う。地域PRは県の関連機関との連携強化に取り組む。</li> </ul>	94	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者は20代から60代まで幅広い世代の女性が参加したセミナーとなり、40代以上の世代が過半数以上を占めた。アンケートに回答した者については、過半数（57.1%）が首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県）在住、半数が会社員またはパート・アルバイトなどの職業に就いている者だった。</li> <li>・セミナーでの質疑応答やアンケート結果からは、移住後の仕事や住居の確保に関心の高さがみられた。</li> <li>・女性に限定した移住セミナーを初開催したことで、女性と一括りにできない事情を知ることができた。</li> </ul>	企画振興課
上田地域の短期大学との連携による地域で活躍する人材定着促進事業	上田女子短期大学との連携により、上田地域の中学生を対象としたキャンパスツアーを開催し、両校の魅力発信と地域人材の育成に繋がる取組を行う。	95	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上田女子短期大学と連携し、上田女子短は「心理学」、工科短期大学は「ものづくり」をテーマに中学生を対象としたキャンパスツアーを令和4年7月26日に実施した。参加者は当初3校22名を予定していたが、新型コロナの影響により2校10名の参加となった。参加した中学生からは学生生活や学習内容への関心、将来の夢のきっかけとなることの期待などの思いが寄せられた。</li> <li>・企業セミナーは1学年全員を対象として89社の企業の参加のもと令和5年1月26日に実施した。学生は地元企業や県内企業の情報情報を得ることにより就職先の具体的な検討ができ、2学年に向けた準備のよい機会となっている。</li> </ul>	工科短期大学校
② 地消地産の推進				
農産物直売所魅力アップ支援事業	直売所の魅力アップを図るため、直売所の課題（会員拡大・栽培拡大・集客拡大）解決に向けたコーディネーター相談、セミナー開催、出荷量・品質確保に向けた指導会、出荷会員の勧誘を支援	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物の品揃えと新たな出荷者の確保に焦点を絞った先進的な取組事例発表等に学ぶセミナーが開催できた。</li> <li>②管内最大規模の農産物直売所の栽培情報の発行支援を毎月実施。</li> <li>③直売所コーディネーター相談については、長野よろず支援拠点と連携し、1直売所に対して、6月、11月、2月の3回店舗改善支援を実施。</li> <li>魅力アップセミナーの若手農業者による事例発表から、消費者の反応が直接得られること、パッケージの工夫ができることに改めて気づかされた。また、冬場から春先にかけての端境期の陳列棚の品揃えについて、秋野菜の貯蔵方法の工夫により確保（困り野菜）できる可能性を今後探ることとなった。</li> </ul>	農業農村支援センター

③ 基幹産業へのステップに向けたワイン振興				
事業名	事業概要	事業費(千円)	実績・成果	担当課
ワイン用ぶどう生産支援事業	ワイン産地の基盤強化を図るため、生産者の栽培技術向上に向けたセミナーの開催、スマート農業の普及に向けたお話し体験を実施	46	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産者技術セミナーは、1月に屋内での栽培技術及び病害虫防除に関する研修会を、2月にはワイン用ぶどうほ場で粗皮剥ぎ作業や無煙炭化器の実演会を合わせて開催した。参加人数は当初の目標を上回る参加があり、関心の高さが窺えた。また、アンケート結果から継続実施の希望が高いことが分かった。労力負荷軽減につながるアシストスーツお話し体験は、体験会を1回実施できた。</li> <li>セミナー開催時のアンケート結果(回収率100%:32名)から今回のセミナーが役立ったかの問いに、「大いに役立った」に20名、「まあまあ役立った」に12名の回答を得た。また、アンケートを通じて、引き続き、栽培技術や病害虫対策についての開催要望が強いことや、経営の中では、労働力不足である課題等を確認することができた。</li> </ul>	農業農村支援センター
上田地域ワイン販売促進事業	贈答用としてワインの活用を促すチラシや販売情報をまとめたリーフレットを作成・配布し、ワイン文化の定着及び消費拡大を図る。	1,254	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワインのギフト活用を提案するチラシを作成し、11月27日(日)の朝刊折込により管内4市町村の約56,000世帯に配布。掲載者の7割から、広告効果による売上があり、新規客の獲得につながったとの回答があった。</li> <li>管内の生産者の販売情報をまとめたリーフレットを5,000部作成し、県民利用施設や県内外の観光施設等に配布。また、生産者や酒販店には産地PRフライヤーを配布し、ワインに添えるなどして活用していただいた。</li> </ul>	商工観光課
④ 林業振興と東信カラマツの販路拡大				
にぎやかな森プロジェクト	東信カラマツや森林認証材の活用促進を図るため、首都圏自治体や企業等に対するPR活動を行う。	996	<ul style="list-style-type: none"> <li>①調査研究活動の成果に関する勉強会・報告会を開催し、地域の企業や関係団体に普及啓発できた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>森林CO2吸収評価勉強会(R4.9.12開催)13者(28名)</li> <li>調査研究報告会(R5.3.15リアル&amp;WEB開催)29者(66名)</li> </ul> </li> <li>②啓発・PR活動を通じ、趣旨に賛同する企業10社と森林の里親協定を締結した。(締結式3回開催)</li> </ul>	林務課
2 地域資源の活用・磨き上げによる観光振興(観光地域づくり)				
① 地域資源の磨き上げ・情報発信				
上田地域広域観光推進事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>観光キャンペーンの実施 コロナ禍で落ち込んだ観光需要を喚起するため、市町村、観光協会等と企画・運営を連携したキャンペーンを実施する。(夏、秋、冬)</li> <li>観光情報の発信 観光誘客促進のため、観光プロモーション動画をコンテスト形式で公募し、話題性づくりと新たな感性・視点による上田地域の魅力を国内外へ発信する。(個人、法人は問わない)</li> <li>ヘルスツーリズム等の推進 体験・滞在・周遊型観光の推進のため、健康をテーマとしたヘルスツーリズムとともにサイクルツーリズム、ワインツーリズムやリゾートテレワークなどを信州上田地域健康パーク推進協議会を開催して総合的に検討し、ライフスタイルの変化に応じた観光コンテンツの充実を図る。</li> </ol>	1,056	<ol style="list-style-type: none"> <li>観光キャンペーンの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>夏 R4.7.19~20 東京都銀座NAGANO(250名)</li> <li>秋 R4.10.26 山梨県談合坂SA(90名)</li> <li>冬 R4.12.19~20 大阪府大阪駅前第一ビルB2F(433名)</li> </ul> 市町村、観光協会と協力し、計3回の観光キャンペーンを行った。観光・特産品のPRに加え夏はワインの試飲、秋は農産物の販売、冬は特産品の無料配布を行い、広く上田地域のPRができた。 </li> <li>観光情報の発信 上田地域観光プロモーション動画コンテストを開催し、令和4年10月21日から令和5年1月31日まで募集した。応募のあった9作品から受賞5作品を選定し、商工観光課公式YouTubeチャンネルに掲載した。またインバウンド用に受賞作品を英訳した動画を作成・掲載した。</li> <li>ヘルスツーリズム等の推進 コロナ禍、物価高騰などによる観光産業への打撃また全国旅行支援など各種支援策による早急な観光需要の回復が、信州上田地域健康パーク推進協議会の主たる構成員である観光事業者にとって優先課題となることから未開催とし、協議会を通じた取組み事例の集約を行った。</li> </ol>	商工観光課
② アフターコロナを見据えたインバウンド誘客対応				
上田地域広域観光推進事業<再掲>	(再掲のため省略)			商工観光課

3 ゼロカーボンの推進による持続可能な脱炭素社会づくり				
① 太陽光・小水力発電等の普及啓発や、具体的な実践に繋がるゼロカーボンの取組の情報発信				
事業名	事業概要	事業費 (千円)	実績・成果	担当課
上田地域でのゼロカーボン推進のための情報発信	ゼロカーボンの取組を地域に広げ推進していくため、学びのための環境づくりとして、管内企業等のゼロカーボン推進に係る取組事例を取材し、動画作成、配信を行う。	990	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下のテーマで動画を4本制作し（1本につき8分～14分程度）、地元ケーブルテレビ局の番組として、R4年11月からR5年2月にかけて延べ40回放映した。</li> <li>①「地球温暖化って何？」（放送回数：8回）</li> <li>②「上田地域の取組～上田市シェアサイクル～」（放送回数：8回）</li> <li>③「日置電機 理念通して持続可能な社会に」（放送回数：12回）</li> <li>④「上田市市民エネルギー 相乗りで太陽光発電」（放送回数：12回）</li> </ul> ・長野県ブログ「しあわせ信州」YouTubeチャンネルに制作した動画4本を登録し、広く周知を図った。	環境課
4 新型コロナウイルス感染症から県民の暮らしを守り、産業の下支えとコロナ禍からの復興				
① 新型コロナウイルス感染症から県民の暮らしを守り、産業の下支えとコロナ禍からの復興				
上田地域広域観光推進事業<再掲>	(再掲のため省略)			
世代別健康に配慮したメニューの普及	健康に食べることの普及啓発のため、世代別に健康に配慮した料理のレシピと実践のための情報をまとめた媒体（チラシ、テレビ番組）を活用し、料理の実演や講義を通して普及を行う。	340	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、普及講習会は思うように開催することができず、目標実施回数は達せられなかったが、企業・公民館・保育所・学校等との連携により12回実施することができた。（子育て世代2回、若い世代・高校生1回、働き盛り世代2回、シニア世代7回）</li> <li>講習会の実施時間を短くする必要があるが、講習会実施後のアンケートの実施が困難であったが、回収できた47名のうち、「食生活に気をつけようと思った」・「少し思った」と回答した者は43名（91.5%）。「日頃食生活に気をつけていない」と回答した10名のうち、9名が「食生活に気をつけようと思った」と回答し、食生活改善のきっかけとなったと考える。</li> <li>ケーブルテレビによる普及啓発は予定どおり8回実施し、放送の他に、ホームページでの発信も行った。</li> <li>本事業を5年にわたり実施し、企業や学校、地域の公民館との連携を図ることができた。</li> <li>集合での講習会が実施しにくいコロナ禍では、ケーブルテレビやホームページからの情報発信は有効であった。</li> <li>世代別の健康に配慮したメニューや実践方法を掲載したリーフレットを作成し、それをもとに普及啓発活動を進めた。リーフレットは栄養士会の活動だけでなく、市町村の乳幼児健診や健康づくり事業などでも活用され、市町村の保健活動の支援にもつながっている。（作成したリーフレット6種類 配布部数約7,700部）</li> </ul>	保健福祉事務所
健康長寿の運動セミナー	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進と、運動を自発的かつ習慣化することによる健康の維持を図るため、各種団体等に働きかけ、働き盛り世代やシニア世代等を対象とした運動教室の支援や講座を開催する。	243	<ul style="list-style-type: none"> <li>①運動教室への講師派遣事業 主催団体のニーズに応じた講師の派遣ができた。コロナ感染拡大防止のため3件（申込全6件中）が中止となった。</li> <li>②健康運動の動画制作・配信 当所の公式YouTubeチャンネルにて、健康動画を配信し視聴者の運動促進を図った。配信動画の視聴者から動画内 容を講座で扱ってほしいという依頼があった。動画講師による運動教室開催へのつながりが期待できる。</li> <li>③運動用具の整備及び貸出 当所ホームページやチラシでの宣伝を行ったことで、小諸まで借りに来る団体が増えた。</li> <li>④ポールウォーキング講座 上田市塩田地区の文化財を、ガイドを受けながら巡るポールウォーキング講座を開催した。講師2人を派遣し、参加者から高い満足度を得られた。</li> </ul>	東信教育事務所
合 計		6,044		

【 令和5年度計画 】

事業名	事業概要	担当課
1 上田地域の魅力の向上と発信による人を惹きつける観光地域づくり		
① 地域と一体となった観光需要の回復		
上田地域観光振興事業	<p>1 観光キャンペーンの実施 観光需要を喚起し、認知度の向上を目指し、市町村や観光協会等と連携したキャンペーンを実施する。</p> <p>2 観光客同行調査 コロナ禍で変化した観光スポット・来訪者を改めて洗い出し、効果的なPRを行うための調査を行う。</p> <p>3 観光地域づくり講演会（セミナー）開催事業 市町村及び観光関係者を対象にマーケティング戦略や情報発信力の向上に向けた講演会等を開催する。</p> <p>4 サイクルツーリズム醸成 Japan Alps Cycling Roadの公表にあわせて上田地域のレンタサイクルの提供場所や自転車利用の注意事項（マナー等）を周知するとともに、サイクリストの受け入れ体制を整えるため、リペアキットを上田地域の「道の駅」に配置する。</p>	商工観光課
【松本地局実施】 信州まつもと空港発 レンタカー利用促進 キャンペーン事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松本空港を利用して来県する旅行者のうち、レンタカー利用者に対し、地域内での周遊、滞在及び消費の促進を図るため、令和3年7月から観光パスポート「信州まつもと空港発 「レンタカーDeぐるっ得パス」」を配布している。</li> <li>・有効期限が令和6年3月31日までのため、対象エリアの見直しや店舗追加等パスポートのアップデートを図るもの。</li> <li>・上田地域を対象エリアに追加するに伴い、店舗数に応じた費用を上田地局で負担する。</li> </ul>	松本地域振興局企画振興課
農産物直売所魅力アップ支援事業	取扱品目や出荷者の拡大支援に加え、集客力の拡大に向け、上田地域の直売所に共通する課題の解決を目的とした事業とともに、農業と観光業を“つないだ”情報発信アイテムを作成する。	農業農村支援センター
2 地域を支える産業のグレードアップ		
① 持続可能な産業の実現に向けた取組		
にぎやかな森プロジェクト	持続的な森林経営に向けて上田地域の森林の付加価値を高めるため、調査研究・評価により東信カラマツや森林に係るデータの見える化を図るとともに、地域の林業経営者等へ成果を普及啓発する。	林務課
求職者・就職困難者等に対する就労サポート事業	上田地域での就労促進や産業人材の確保のため、特に女性を対象とした就労等に関する相談会やセミナーを実施するとともに、就労支援制度に関する情報提供等を行う。	商工観光課
伝統的工芸品の魅力発信・再発見事業	上田地域の伝統的工芸品の価値や魅力を発信・再発見するために、各種展示会やブログを通じて広く周知するとともに、販売促進等を行う。	商工観光課
上田地域の短期大学との連携による地域で活躍する人材定着促進事業	上田女子短期大学と連携して、上田地域の中学生を対象としたキャンパスツアーの開催やイベントの共同広報を行うことで、4年制大学にはない両校の魅力を発信し、地域産業を支える人材の育成につなげる。	工科短期大学校
② 世界基準を見据えたワイン産地づくり		
上田地域ワイン振興事業	<p>1 新聞折込広告の実施 ワインのギフト活用を提案する広告を作成し、11月末に新聞折込により上田地域の4市町村の新聞購読世帯約56,000世帯に配布する。</p> <p>2 販売情報リーフレットの増刷 R4年度発行分の在庫がなくなるため増刷を行う。</p> <p>3 首都圏でのワインイベントの開催 赤坂離宮迎賓館（東京都）において上田地域のワイン等の販売を行い、首都圏での認知度の向上を図るとともに、観光情報の発信を行い、ワインを基軸とした観光誘客を行う。</p>	商工観光課
ワイン用ぶどう生産支援事業	ワイン用ぶどう栽培者の経営安定やワインの評価につなげるため、原料ぶどうの品質と収量の向上につながる栽培技術の指導・支援に取り組む。	農業農村支援センター

事業名	事業概要	担当課
3 穏やかに暮らし続けられる地域づくり		
① 医療・福祉の充実、健康づくりの推進、子育て・子育て支援		
棚田の学校子育て支援事業	日本の原風景である棚田での農業体験等について、発達障害や不登校児童が社会とふれあう場としての活用方法を検討するため実証実験を行い、課題の抽出を行う。	農地整備課
健康長寿の運動セミナー	成人の運動実施率の向上と健康長寿の延伸を目指して、ニーズに応じた運動講座の開催や各種団体等が主催する運動教室開催の支援を行い、運動習慣の定着や健康増進活動の促進を図る。	東信教育事務所
② 移住の促進、つながり人口の創出・拡大		
和田宿移住生業づくり協働事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長和町では移住者の受入環境が十分とはいえないことから（一時的な住まい、仕事の選択肢、若者が集まる場がないなど）、旧和田中学校を活用し、R5年度に信州暮らし推進課が実施する「共創人口構築事業」を進めるとともに、当該事業で必要となる部材等を購入する。</li> <li>・旧和田中学校に宿泊や食事、生業づくりのための拠点機能を持たせ、長和町におけるホットスポット化を目指す。</li> </ul>	企画振興課
4 持続可能な脱炭素社会の地域づくり		
① 持続可能な脱炭素社会に向けた取組の推進		
上田地域でのゼロカーボン推進のための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼロカーボンの取組をさらに地域に広げ推進していくため、上田地域で先進的・継続的にゼロカーボンに取り組んでいる事業者を講師に迎えて講演会等を開催する。（R4年度に制作した動画の上映会も同時開催）</li> <li>・併せて、普及啓発活動を目的としたチラシやグッズ等を作成し、配布する。</li> </ul>	環境課

## (2) 地域発 元気づくり支援金

市町村や公共的団体が住民とともに自らの知恵と工夫により、自主的、主体的に取り組む地域の元気を生み出すモデル的で発展性のある事業に対し、必要な経費を支援する。

### 【 令和4年度実績 】

次のとおり、33団体に対し、34件、57,501千円の支援を行った。

#### ア 事業区分別

(単位:件、千円)

区 分	件数	金額
1 地域協働の推進	2	3,221
2 保健、医療、福祉の充実	2	790
3 教育、文化の振興	10	15,445
4 安全・安心な地域づくり	1	168
5 環境保全、景観形成	4	6,986
6 産業振興、雇用拡大 小計	15	30,891
6-1 特色ある観光地づくり	7	16,613
6-2 農業の振興と農山村づくり	2	2,423
6-3 森林づくりと林業の振興	0	0
6-4 商業の振興	1	1,546
6-5 その他	5	10,309
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	0	0
合 計	34	57,501

#### イ 申請者区分別

(単位:件、千円)

区 分	件数	金額
市 町 村	2	6,068
上 田 市	1	4,352
東 御 市	0	0
長 和 町	1	1,716
青 木 村	0	0
広 域 連 合	0	0
公 共 的 団 体	32	51,433
合 計	34	57,501



【 令和5年度採択状況 】

36団体から41件、83,663千円の要望があり、次のとおり事業の選定を行った。

令和5年6月1日現在

ア 事業区分別

(単位:件、千円)

区 分	要望		採択	
	件数	金額	件数	金額
1 地域協働の推進	7	21,033	5	16,072
2 保健、医療、福祉の充実	5	5,821	3	4,304
3 教育、文化の振興	8	15,391	6	9,722
4 安全・安心な地域づくり	1	893	1	893
5 環境保全、景観形成	3	1,705	3	1,705
6 産業振興、雇用拡大 小計	14	32,971	12	25,678
6-1 特色ある観光地づくり	6	15,518	5	10,692
6-2 農業の振興と農山村づくり	3	7,489	2	5,022
6-3 森林づくりと林業の振興	0	0	0	0
6-4 商業の振興	2	3,307	2	3,307
6-5 その他	3	6,657	3	6,657
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0	0	0
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	3	5,849	1	558
合 計	41	83,663	31	58,932

【再掲】重点的に推進するテーマ

(単位:件、千円)

区 分	要望		採択	
	件数	金額	件数	金額
【県全域重点テーマ】	5	11,307	5	11,307
女性若者から選ばれる県づくり	5	11,307	5	11,307
2050ゼロカーボンに向けた取組の推進	0	0	0	0
【地域重点テーマ】	30	67,559	22	44,205
若者・女性・外部人材の活躍の推進	3	2,644	3	2,644
世代・地域を越えた交流の推進	8	15,441	5	11,776
地域の強み・資源を生かした産業の振興	10	24,915	9	22,448
地域との交流を促す魅力ある観光地域づくり	9	24,559	5	7,337
住環境整備と魅力発信による移住推進	0	0	0	0
合 計	35	78,866	27	55,512

イ 申請者区分別

(単位:件、千円)

区 分	要望		採択	
	件数	金額	件数	金額
市 町 村	6	17,031	2	1,625
上 田 市	2	5,323	1	497
東 御 市	0	0	0	0
長 和 町	3	9,241	1	1,128
青 木 村	1	2,467	0	0
広 域 連 合	0	0	0	0
公 共 的 団 体	35	66,632	29	57,307
合 計	41	83,663	31	58,932

### 3 地方創生

本格的な人口減少社会を迎える中、将来にわたって地域の活力を維持していくため、地域再生法に基づく交付金の採択に向けた助言等の支援を行った。

令和5年5月1日現在

#### 【 地方創生関係交付金 採択状況 】

(単位：千円)

市町村名	推進交付金			拠点整備交付金		
	R3年度	R4年度	R5年度	R2年度	R3年度	R4年度
上田市	98,402	82,800	77,545	0	0	0
東御市	8,250	6,050	500	223,900	2,150	0
長和町	6,000	0	0	181,835	0	0
青木村	6,250	6,400	6,750	0	0	0
計	118,902	95,250	84,795	405,735	2,150	0

### 4 選挙

令和4年7月10日執行の参議院議員通常選挙及び令和4年8月7日執行の長野県知事選挙等に際し、県及び市町村選挙管理委員会と連携して適正な管理執行事務を行うとともに、より多くの投票参加が図られるよう啓発事業を行った。

#### (1) 最近の執行状況

##### ア 参議院議員通常選挙（令和4年7月10日執行）

区分	当日の有権者数			投票者数			投票率 (%)			参考 〔前回 R1〕
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
上田市	62,454	65,953	128,407	34,968	36,317	71,285	55.99	55.06	55.51	54.68
東御市	12,237	12,509	24,746	7,258	7,316	14,574	59.31	58.49	58.89	56.91
長和町	2,527	2,571	5,098	1,709	1,705	3,414	67.63	66.32	66.97	66.05
青木村	1,755	1,867	3,622	1,206	1,282	2,488	68.72	68.67	68.69	67.80
管内計	78,973	82,900	161,873	45,141	46,620	91,761	57.16	56.24	56.69	55.70
県計	836,517	884,852	1,721,369	488,453	504,861	993,314	58.39	57.06	57.70	54.29

##### イ 長野県知事選挙（令和4年8月7日執行）

区分	当日の有権者数			投票者数			投票率 (%)			参考 〔前回 H30〕
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
上田市	61,938	65,450	127,388	23,356	25,577	48,933	37.71	39.08	38.41	41.50
東御市	12,102	12,406	24,508	5,022	5,278	10,300	41.50	42.54	42.03	44.25
長和町	2,504	2,555	5,059	1,348	1,383	2,731	53.83	54.13	53.98	55.34
青木村	1,730	1,846	3,576	987	1,099	2,086	57.05	59.53	58.33	62.12
管内計	78,274	82,257	160,531	30,713	33,337	64,050	39.24	40.53	39.90	42.85
県計	829,124	877,558	1,706,682	336,322	362,413	698,735	40.56	41.30	40.94	43.28

ウ 長野県県議会議員一般選挙（令和5年4月9日執行）

区分	当日の有権者数			投票者数			投票率（％）			参考 〔前回〕 H31
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
上田市	61,243	64,761	126,004	26,437	28,540	54,977	43.17	44.07	43.63	46.68
東御市	12,021	12,294	24,315	6,235	6,484	12,719	51.87	52.74	52.31	-
長和町	2,489	2,514	5,003	1,379	1,357	2,736	55.40	53.98	54.69	58.22
青木村	1,710	1,832	3,542	1,084	1,162	2,246	63.39	63.43	63.41	66.70
管内計	77,463	81,401	158,864	35,135	37,543	72,678	45.36	46.12	45.75	47.67
県計	585,145	620,859	1,206,004	261,880	274,382	536,262	44.75	44.19	44.47	47.57

(2) 選挙人名簿登録者数（令和5年3月1日現在）

区 分	選挙人名簿登録者数			在外選挙人名簿登録者数		
	男	女	計	男	女	計
上田市	62,239	65,619	127,858	51	68	119
東御市	12,187	12,471	24,658	14	7	21
長和町	2,508	2,545	5,053	4	3	7
青木村	1,732	1,853	3,585	2	2	4
管内計	78,666	82,488	161,154	71	80	151



# 環 境 課

# 1 地球温暖化対策

2050ゼロカーボンの実現に向けて、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大を図るため、啓発活動に取り組んでいる。

## (1) 既存住宅エネルギー自立化補助金

県民が認定事業者の販売・施工を通じ既存住宅に太陽光発電システム及び蓄電システムを設置する場合、その費用の一部を補助している。

《補助実績件数》

補助区分	管内		長野県	
	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
太陽光+蓄電池	4	19	49	220
蓄電池のみ	32	73	338	466
計	36	92	387	686

## (2) 自然エネルギー地域発電推進事業(令和3年度まで)

事業者が地域金融機関等と連携して行う固定価格買取制度(FIT)を活用した自然エネルギーの発電事業の経費の一部を補助。FITにより生じた売電収益の一部を県に納付する収益納付型補助制度。

《管内補助実績》

年度	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)	事業概要	売電開始年月日 (納付開始年度)
H29	9,684,640	2,421,000	民間信託を活用した住宅の屋根等への太陽光発電施設設置	平成29年11月29日 (令和2年度)
	15,531,500	3,882,000	民間信託を活用した公共施設の屋根への太陽光発電施設設置	平成30年3月22日 (令和3年度)
	16,255,050	4,063,000	民間信託を活用した農地での太陽光発電施設設置	平成30年5月29日 (令和3年度)
R2	9,789,600	2,447,000	地元金融機関融資を利用し営農型太陽光発電所を水田に設置	令和3年5月29日 (令和5年度)

## (3) 太陽光発電設備等(太陽光・蓄電池)共同購入事業 グループパワーチョイス

太陽光のみ購入、太陽光と蓄電池購入、蓄電池のみ購入の3パターン。  
全県で令和3年度は159件、令和4年度は124件が契約。

## (4) 上田地域でのゼロカーボン推進のための情報発信事業(地域振興推進費)

より多くの住民・企業・団体組織等にゼロカーボンの推進を自分事として意識してもらうとともに、今後の普及啓発活動の一助とするため、「2050ゼロカーボン達成へ」と題し先進的な取組を行っている企業や組織の取組状況の動画を4本制作し、地元ケーブルテレビの番組として令和4年11月から令和5年2月にかけて延べ40回放映した。

- 動画タイトル
- ①「地球温暖化って何？」
  - ②「上田地域の取組～上田市シェアサイクル～」
  - ③「日置電機 理念通して持続可能な社会に」
  - ④「上田市民エネルギー 相乗りで太陽光発電」

## 2 環境保全対策

### (1) 大気保全等対策

#### ア 大気関係立入検査状況

大気汚染防止法及び良好な生活環境の保全に関する条例に基づき、立入検査を実施している。

《対象施設等数及び立入検査状況》 (令和4年度)

区	分	対象施設等数	立入検査件数	指導件数
大気汚染防止法	ばい煙	306	8	4
	粉じん	137	6	1
	アスベスト除去	3	6	4
	水銀	12	2	0
	揮発性有機化合物	5	1	0
良好な生活環境の 保全に関する条例	ばい煙	0	0	0
	粉じん	120	0	0
合	計	583	23	9

#### イ ダイオキシン類対策

ダイオキシン類特別措置法に基づき、特定施設設置者が行った濃度測定結果等を基に、排出基準への適合状況を定期的に確認している。

《特定施設届出及び測定結果報告状況》 (令和4年度)

区	分	届出施設数	測定結果報告件数	基準超過件数
大気関係	アルミニウム合金製造施設	5	5	0
水質関係	下水道終末処理場	1	1	0
合	計	6	6	0

### (2) 水環境保全対策

水質汚濁防止法及び良好な生活環境の保全に関する条例に基づき、特定施設を設置する事業場に対して立入検査を実施している。

《水質関係立入検査状況》 (令和4年度)

区	分	届出事業場数	立入検査件数	指導件数
水質汚濁防止法		1,038	38	7
良好な生活環境の保全に関する条例		34	0	0
合	計	1,072	38	7

### (3) 土壌汚染対策

土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査の結果、汚染状態が基準に適合しない場合は、健康被害のおそれの有無に応じて区域指定されます。

《区域指定の状況》 (令和5年3月31日現在)

区分	要措置区域	形質変更時要届出区域
指定件数	1	3

(4) 公害苦情処理状況

公害苦情処理要領に基づき、公害苦情、相談に対応している。

《公害苦情件数》

(令和4年度)

公害の種類	大気汚染	水質汚濁	騒音	悪臭	その他	合計
件数	3	15	0	2	0	20

(5) 水道対策

管内の水道の普及率は令和2年度末現在99.4%で、「安心でおいしい水」の確保のため水道施設等の指導に努めている。

《水道施設等状況》

(令和5年3月31日現在)

区分	上水道	簡易水道	飲料水供給施設	簡易給水施設	合計
施設数	2	3	1	0	6

(注) 上水道：計画給水人口が5,001人以上の水道

(上田上水道及び企業局諏訪形浄水場は国認可のため対象施設から除外)

簡易水道：計画給水人口が101人以上5,000人以下の水道

専用水道：寄宿舍・住宅等における自家用水道

飲料水供給施設：給水人口が50人以上100人以下の給水施設

簡易給水施設：給水人口が概ね20人以上50人未満の給水施設

(6) 生活排水対策

ア 生活排水の処理

生活排水は、公共下水道、農業集落排水施設及び合併処理浄化槽により処理されている。

《汚水処理人口及び同普及率》

(令和4年3月31日現在)

区分	人口(人)	汚水処理人口(人)				普及率(%)			
		公共・特環下水道	農業集落排水施設等	浄化槽、コミュニティプラント	計	公共・特環下水道	農業集落排水施設等	浄化槽、コミュニティプラント	計
上田市	154,134	124,103	23,758	3,721	151,582	80.5	15.4	2.4	98.3
東御市	29,605	22,585	4,146	2,470	29,201	76.3	14.0	8.3	98.6
長和町	5,776	5,077	54	440	5,571	87.9	0.9	7.6	96.5
青木村	4,257	3,917	-	261	4,178	92.0	-	6.1	98.1
管内計	193,772	155,682	27,958	6,892	190,532	80.3	14.4	3.6	98.3
長野県計	2,048,794	1,738,555	156,964	116,328	2,011,847	84.9	7.7	5.7	98.2

(注) 普及率は四捨五入を行ったため、合計が合わないことがある。

イ 浄化槽立入検査

浄化槽の維持管理状況確認等のため、立入検査を行い、公共水域の水質保全と環境衛生の向上に努めている。

《浄化槽設置状況及び立入検査状況》

(令和4年度)

設置基数 (令和4年3月31日現在)	立入検査件数	改善指導件数
3,633	49	46



(7) 自然保護対策

ア 自然公園等の管理

優れた自然環境の保護と適正な利用を図るため、自然公園法及び自然環境保全条例に基づき、各種行為の許可等を行っている。

《自然公園》

(面積単位：ha)

公園名	指定年月日	公園面積	うち県内	うち管内	関係市町村
上信越高原 国立公園	S24.9.7	148,194	62,972	6,305	上田市 東御市
八ヶ岳中信高原 国立公園	S39.6.1	39,857	35,769	4,954	上田市 長和町

《自然公園法に基づく許可（同意）件数》

公園名	町村名	種類	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
上信越高原 国立公園	上田市	工作物	34	21	19	10	33
		土地の形状変更	2	2	0	2	1
		その他	7	7	3	5	3
	計	43	30	22	17	37	
	上信越	計	43	30	22	17	37
八ヶ岳中信高原 国立公園	上田市	工作物	6	1	4	5	3
		土地の形状変更	0	0	0	0	0
		その他	1	3	1	0	0
	計	7	4	5	5	3	
	長和町	工作物	8	7	7	7	2
		土地の形状変更	0	0	1	2	2
		その他	5	5	1	4	0
	計	13	12	9	13	4	
	八ヶ岳	計	20	16	14	18	7

《自然公園法に基づく届出件数》

公園名	町村名	種類	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
上信越高原 国立公園	上田市	工作物	0	0	0	0	1
		その他	1	0	0	0	0
	計	1	0	0	0	1	
	東御市	工作物	0	0	1	1	0
		その他	3	2	5	3	4
計	3	2	6	4	4		
	計	4	2	6	4	5	
八ヶ岳中信高原 国立公園	上田市	工作物	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	1	0
	計	0	0	0	1	0	
	長和町	工作物	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	1	0	

### イ 自然観察インストラクター及び自然保護レンジャーの活動

自然公園等の利用に関する指導を行う自然保護レンジャー、自然解説を行う自然観察インストラクターにより、自然環境の適正な利用と保全に努めている。

《自然観察インストラクター・自然保護レンジャー》 (令和5年3月31日現在)

区 分	人数	
自然保護レンジャー	管内の委嘱人数	12人
自然観察インストラクター	管内の登録者数	13人

## 3 循環型社会の形成

廃棄物の発生を抑制するとともに、環境にやさしいライフスタイルを推進し、循環型社会の形成を図るため、県民総参加による取組を進めている。

### (1) チャレンジ800ごみ減量推進事業

県、市町村、広域連合等と連携して、ごみ減量の取組を推進できるよう「チャレンジ800実行チーム」を組織し、情報交換や地域の実情に応じたごみ減量の取組の推進を図った。

《1人1日あたりの一般廃棄物（ごみ）排出量の状況（g）》

	上田市	東御市	長和町	青木村	上田管内	長野県
令和3年度 排出量	763	564	732	654	678	800
令和2年度 排出量	761	560	730	690	728	807
増減量	+2	+4	+2	-36	-50	-7
全県順位（令和3年度）	47	24	40	31		
全県順位（令和2年度）	47	22	41	35		

### (2) きれいな信州環境美化運動

住民、団体、企業、行政など多様な主体が協働し信州全体をきれいにする運動。ポスター・チラシの配布により運動を周知。

令和4年6月及び10月にJR長野支社上田駅と上田駅商業施設6事業者と協働で、上田駅周辺のごみの一斉収集および清掃を実施。

### (3) 信州プラスチックスマート運動

地球規模での環境汚染が懸念される海洋プラスチックごみ問題に、上流県である本県が貢献できるよう、プラスチックと賢く付き合う「信州プラスチックスマート運動」をポスター、チラシの配布により周知。

### (4) 食べ残しを減らそう県民運動の周知

「残さず食べよう！30・10運動」として令和4年10月に上田駅で啓発実施。

信州発もったいないキャンペーンについてポスター、チラシの配布により周知。

### (5) フードドライブの実施

食糧資源の有効活用による食品ロス削減のため、フードドライブを令和4年6月、10月、11月の計3回実施。

# 農地整備課

## 1 農業生産基盤の概況

### (1) 上田地域のほ場整備及び畑地かんがい施設の整備状況

管内の耕地面積は8,912ha(県全体105,165ha)で、うち5,166haが整備済み(整備率58.0%(県全体60.3%))となっている。また、866haの畑地かんがい施設が整備(整備率20.1%(県全体28.0%))されている。

区分	耕地 面積 (ha)	整備済		整備率		畑地かんがい 整備済面積 (ha)	整備率 (%)
		面積 (ha)	区画 20a以上	(%)	区画 20a以上		
上田管内	8,912	5,166	3,612	58.0	40.5	—	—
水田 計	4,593	3,792	2,559	82.6	55.7	—	—
上田市	2,820	2,402	1,770	85.2	62.8	—	—
東御市	1,090	802	508	73.6	46.6	—	—
長和町	453	366	191	80.8	42.2	—	—
青木村	230	222	90	96.5	39.1	—	—
畑 計	4,319	1,374	1,053	31.8	24.4	866	20.1
上田市	2,420	767	659	31.7	27.2	503	20.8
東御市	1,270	416	226	32.8	17.8	348	27.4
長和町	431	181	162	42.0	37.6	15	3.5
青木村	198	10	6	5.1	3.0	0	0.0
県全体	105,165	63,429	43,493	60.3	41.4	—	—
水田	51,738	44,543	28,819	86.1	55.7	—	—
畑	53,427	18,886	14,674	35.3	27.5	14,938	28.0

※令和3年度実績(農地整備課調べ)

### (2) 上田地域の農業水利施設の整備状況

管内の用排水路は1,380km(受益面積5ha以上)あり、このうち受益面積100ha以上の基幹的な用排水路の延長は106kmとなっている。また、管内には252か所の農業用ため池があり、うち125か所が防災重点ため池である。

区分	用排水路延長		農業用ため池のか所数	
	基幹的な用排水路延長			防災重点ため池
上田管内	1,380 km	106 km	252	125
県全体	14,874 km	1,291 km	1,896	690

※令和5年5月現在(農地整備課調べ)

## 2 農業農村整備事業の概要

「第4期長野県食と農業農村振興計画(R5～R9)」において農業・農村の「めざす姿」としている「住んでいる人、住みたいと思っている人の満足度の高い豊かな農村」を実現させるための実行計画である。「長野県農業農村整備計画【第9次長野県土地改良長期計画】(R5～R9)」に基づき、次代を担う山地を支える基盤整備の推進、安全安心で持続可能な農村の基盤づくり、農的つながり人口の創出・拡大による農村づくりに取り組む。

### ○ 第4期長野県食と農業農村振興計画達成指標

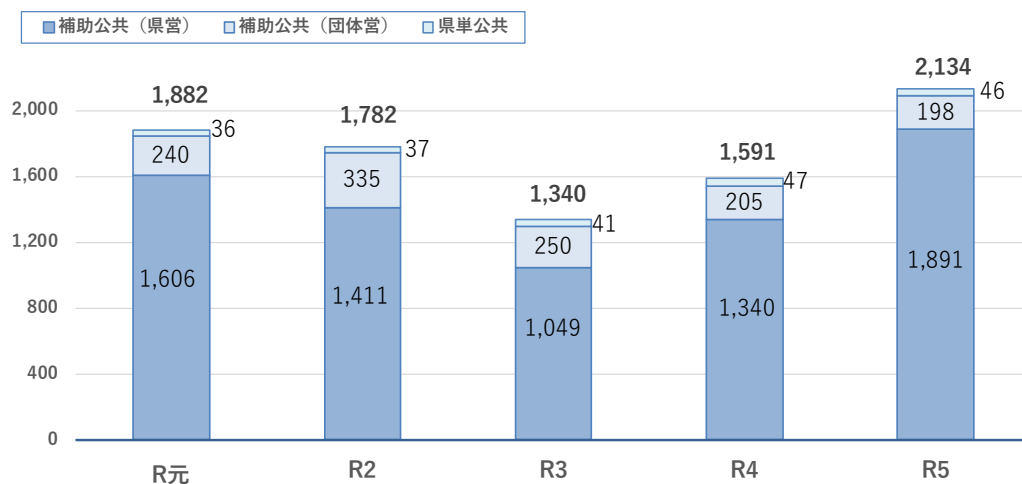
区 分	上田管内			県全体	
	R 3年度 (現状)	R 5年度 (計画)	R 9年度 (目標)	R 3年度 (現状)	R 9年度 (目標)
農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	1 箇所	1 箇所	4 箇所 (R5～R9)	37 箇所	66 箇所 (R5～R9)
地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積 <多面的機能支払分>	6,147ha <5,790ha>	6,299ha <5,915ha>	6,299ha <5,915ha>	49,343ha <43,974ha>	50,200ha <44,750ha>
防災重点農業用ため池の防災対策工事の完了箇所数	20 箇所	24 箇所	50 箇所 (R5～R9)	57 箇所	127 箇所 (R5～R9)
水門を自動化・遠隔化した農業水利施設の箇所数	4 箇所	10 箇所	19 箇所 (R5～R9)	48 箇所	84 箇所 (R5～R9)

## 3 上田管内の農業農村整備事業費の推移

【令和5年5月26日時点】（単位：千円）

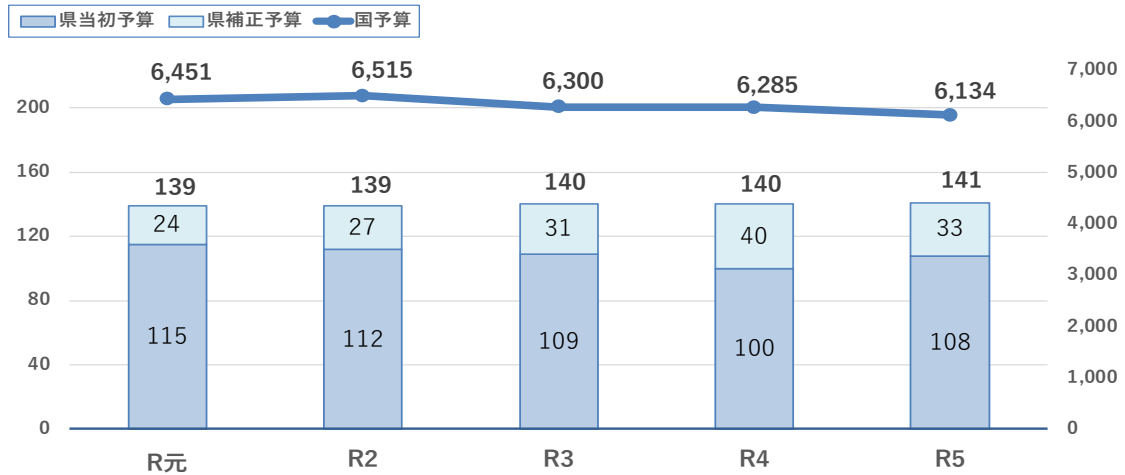
区 分	R元	R 2	R 3	R 4	R3補正		R 5	R4補正		当初
					R3補正	一般		R4補正	当初	
補助公共	県 営	1,605,602	1,411,200	1,048,943	1,339,500	419,000	920,500	1,891,167	1,005,337	885,830
	団体営	240,210	334,553	250,110	205,100	0	205,100	197,700	32,000	165,700
	計	1,845,812	1,745,753	1,299,053	1,544,600	419,000	1,125,600	2,088,867	1,037,337	1,051,530
県単公共 計	36,221	36,639	41,013	46,839	—	46,839	45,512	—	45,512	
上田管内 計	1,882,033	1,782,392	1,340,066	1,591,439	419,000	1,172,439	2,134,379	1,037,337	1,097,042	

※各年度事業費は前年度補正を含む



※各年度前年度の補正予算を含む

【参考】国及び県の農業農村整備事業予算の推移



※国・県予算とも当初予算+前年度補正予算

4 水・土・里を支え活かし、次代へつなぐ農業農村整備

長野県農業農村整備計画(第9次長野県土地改良長期計画)に基づき事業を進める。

(1) 稼ぐ農業を支える基盤整備の推進

ア 県営かんがい排水事業

農業用水を安定的に供給するため、基幹水利施設の補修・更新や機能向上等の整備を行う。

(単位: 千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 4年度 まで	進度 (%)	R 5年度	R 5年度 事業内容
よだがわきがん 依田川左岸	上田市	H24~R 5	701,000	677,000	97	(26,145) 0	水路補修工 L=78m
すがだいら 菅平	上田市 東御市	H28~R 7	2,387,000	1,720,000	72	(460,752) 459,690	ダム設備 一式
2 地区			3,088,000	2,397,000	78	(486,897) 459,690	

※R 5年度欄の上段 ( ) は、R 4年度繰越分で外数

イ 県営畑地帯総合土地改良事業

荒廃農地を解消しぶどう団地へ転換するとともに、担い手への農地集積を推進する。

(単位: 千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 4年度 まで	進度 (%)	R 5年度 (予定)	R 5年度 事業内容
ねつみどう 祢津御堂	東御市	H27~R 5	1,234,000	1,199,684	97	(82,016) 33,000	道路工 L=2,400m

※R 5年度欄の上段 ( ) は、R 4年度繰越分で外数

## ウ 団体営土地改良事業

### ○ 農業基盤整備促進事業

農地集積の加速化や農業の高付加価値・品質向上等に取り組む上で支障となる農業生産基盤の課題を解決するため、農地及び農業用施設のきめ細やかな整備に対して助成する。

(単位：千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 4年度 まで	進度 (%)	R 5年度	R 5年度 事業内容
ながせ 長瀬	上田市	H27～R5	205,000	204,710	100	(45,000) 0	水路工 L=1,700m

※R 5年度欄の上段 ( ) は、R 4年度繰越分で外数

### ○ 農業水路等長寿命化・防災減災事業

農業水利施設の長寿命化対策や防災減災対策の実施とともに、水管理労力軽減や維持管理コストの低減、事故防止などリスク管理に資する取組に対して助成する。

(単位：千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 4年度 まで	進度 (%)	R 5年度	R 5年度 事業内容
あらかせぎ 新屋堰	上田市	H31～R5	87,000	87,000	100	(20,830) 0	水路工 L=161m
くぼせぎ 窪堰	上田市	R3～R5	35,000	25,000	71	(14,109) 10,000	水路工 L=240m
うすのいり 臼ノ入	長和町	R3～R5	11,000	11,000	100	(5,525) 0	水路工 L=20m
とうごう 当郷	青木村	R4～R5	52,000	52,000	100	(52,000) 0	水路工 L=158m
しおがわ 塩川	上田市	R4～R6	50,000	20,000	40	(20,000) 16,000	水門遠隔操作 N=2か所
うねだのうすいとうしゅこう 上田農水頭首工	上田市	R4～R5	53,000	20,000	38	(20,000) 23,100	水利施設整備 N=1か所
とうみし 東御市	東御市	R5	6,100	0	0	6,100	ハザードマップ作成
7 地区			294,100	215,000	73	(132,464) 55,200	

※R 5年度欄の上段 ( ) は、R 4年度繰越分で外数

### ○ 農業経営高度化支援事業

区画整理事業に係る地域において、当該事業に必要な関係農家の意向調査活動、土地利用調整活動、関係機関との調整等に係る調査・調整活動費用の助成、及び中心経営体への農用地の集積・集約化に向けた促進費用の支援を行う。

(単位：千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 4年度 まで	進度 (%)	R 5年度 (予定)	R 5年度 事業内容
ねつみどう 祢津御堂	東御市	H27～R5	7,500	3,512	47	500	土地利用調整 一式
ねつみどう 祢津御堂	東御市	H27～R6	154,250	110,372	72	0	促進費支援 一式

## (2) 持続的な農業生産活動を支える基盤づくり

### ア 県営農村地域防災減災事業

農地・農業用施設・住宅等への災害を防止するため、耐震性の向上を図る農業用ため池の改修や農村における総合的な防災・減災対策を実施する。

(単位：千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 4年度 まで	進度 (%)	R 5年度	R 5年度 事業内容
にししおだ 西塩田	上田市	H25～R 6	2,625,000	1,793,500	68	(786,729) 177,000	ため池工 N=5か所
かない 金井	上田市	H25～R 5	488,000	448,000	92	(39,398) 0	水路工 L=105m
いずみだ 泉田	上田市	H28～R 6	1,047,000	624,000	60	(84,266) 30,000	ため池工 N=1か所
しおだ 塩田	上田市	H29～R 5	1,035,000	994,400	96	(135,316) 0	ため池工 N=1か所
まくみやいけ 幕宮池	上田市	H29～R 6	450,000	375,860	84	(199,066) 14,140	ため池工 N=1か所
あさまいけ 浅間池	上田市	H29～R 7	266,000	102,140	38	(63,443) 20,000	ため池工 N=1か所
やまだしんいけ 山田新池	上田市	H30～R 6	159,000	135,000	85	(93,968) 7,000	ため池工 N=1か所
きたはらんいけ 北原新池	上田市	R 5～R 8	190,000	—	—	15,000	ため池工 N=1か所
ながのけん 長野県⑩	東御市 青木村	R 4～R 5	14,000	14,000	100	(14,000) 0	ため池耐震調査 N=2か所
9 地区			6,260,000	4,472,900	71	(1,416,186) 263,140	

※R 5年度欄の上段（ ）は、R 4年度繰越分で外数

### イ 県営中山間総合整備事業

条件不利地である中山間地域において、地域の特徴を活かして活力ある地域づくりを支援するため、用排水路、農道等の農業生産基盤と集落道、防火水槽等の農村の生活環境基盤を一体的に整備する。

(単位：千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 4年度 まで	進度 (%)	R 5年度	R 5年度 事業内容
うつくしのさと 美の郷	上田市	H29～R 6	1,119,000	770,000	69	(129,919) 130,000	頭首工補修 農業集落道 L=1,125m
1 地区			1,119,000	770,000	69	(129,919) 130,000	

※R 5年度欄の上段（ ）は、R 4年度繰越分で外数



## ウ 団体営農村地域防災減災事業

耐震性が不足しているため池の対策工事及び地域の排水機能強化を目的とした水路の対策工事を行うための事業計画の策定を行う。

(単位：千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 4年度 まで	進度 (%)	R 5年度	R 5年度 事業内容
よねくらいけ 米倉池	上田市	R 4～R 5	11,000	11,000	100	(11,000) 0	事業計画策定 一式
みのわいけ 箕輪池	上田市	R 4～R 5	9,000	9,000	100	(9,000) 0	事業計画策定 一式
とうみし 東御市 1	東御市	R 4～R 5	32,000	32,000	100	(32,000) 0	ため池耐震調査 N= 4 箇所
かざわいけ 加沢池	東御市	R 5～R 7	55,000	—	—	10,000	ため池工 N= 1 か所
4 地区			107,000	52,000	49	(52,000) 10,000	

※R 5年度欄の上段 ( ) は、R 4年度繰越分で外数

## エ 地すべり防止区域

管内にある農政部所管の 5 つの地すべり防止区域は全て概成しており、地すべり防止施設等管理委託（県単地すべり防止施設等管理事業）により関係市町村に管理を委託する。

市町村名	地すべり防止区域	指定面積
上田市	野倉地区、岩清水地区、練合地区、天狗平地区（4地区）	107.04ha
青木村	深山地区（1地区）	62.18ha
県全体	137地区	6,392.50ha

## オ 農業集落排水事業

農業集落排水施設の劣化状況を調べる機能診断調査、防食工事等による施設の機能強化に必要な経費を助成する。

(単位：千円)

地区名	関係市町村	実施年度	全体事業費	R 4年度 まで	進度 (%)	R 5年度	R 5年度 事業内容
ふじやま 富士山	上田市	R 5～R 6	207,300	—	—	100,000	実施設計 一式 防食工 一式
たけし 武石	上田市	R 5	3,600	3,600	100	(3,600) 0	調査計画 一式
2 地区			210,900	3,600	2	(3,600) 100,000	

※R 5年度欄の上段 ( ) は、R 4年度繰越分で外数

## カ 国土調査事業（地籍調査）

国土調査法に基づき、市町村が事業主体となって、土地一筆ごとの所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を定める。

（単位：千円）

市町村名	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	区分	備考	R 4 年度まで進捗率
上田市	1,320	13,100	25,094	継続	旧武石村 H17完了	19.0%
東御市	—	—	—	完了	旧東部町 S61休止・H28再開・H29完了 旧北御牧村 S48完了	100.0%
長和町	—	—	—	完了	旧長門町 S50完了 旧和田村 H21完了	100.0%
青木村	—	5,440	4,000	継続		7.8%
計	1,320	18,540	29,094			38.8%
県全体	R 4 年度実施状況：実施36市町村、全域完了12、計画完了14、休止10、未着手5					38.9%

## キ 多面的機能支払交付金

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地や農業用水路等の地域資源を維持、保全する共同活動や施設の長寿命化対策を行う組織を支援する。

市町村名	R 4 年度実績			R 5 年度計画			備考
	組織数	対象面積 (ha)	交付金 (千円)	組織数	対象面積 (ha)	交付金 (千円)	
上田市	7	3,376	192,885	7	3,376	196,827	
東御市	28	1,232	77,791	28	1,232	76,363	
長和町	1	465	30,781	1	472	31,263	
青木村	6	149	8,106	6	147	7,953	
計	42	5,222	309,563	42	5,227	312,406	

※ 負担割合：国50%、県25%、市町村25%

※ 対象面積は、小数点以下四捨五入

## (3) 地域の強みを活かした農村景観や地域資源の活用

### ア 団体営土地改良事業

#### ○ ふるさと信州棚田支援事業

棚田の保全・利活用、遊休農地の解消、農業・農村に対する都市住民の理解促進等を図るため、棚田の保全活動や都市と農村の交流活動を支援する。

（単位：千円）

地区名	事業主体	R 4 年度実績	R 5 年度計画
稲倉の棚田	稲倉の棚田地域振興協議会	412	800

## 5 災害からの復旧

農地・農業用施設等の災害復旧に取り組む市町村を支援する。

### (1) 令和元年度東日本台風災害からの復旧

【令和5年5月26日時点】(単位：千円)

市町村	区分	被害額		災害復旧事業			
		箇所	事業費	箇所	実施中	事業費	内国費
上田市	農地	186	143,000	3	0	12,111	10,743
	農業用施設	293	2,509,000	30	0	1,128,420	1,060,715
	農業集落排水	1	20,000	1	0	7,326	3,663
	計	480	2,672,000	34	0	1,147,857	1,075,121
東御市	農地	360	352,000	45	0	180,633	175,937
	農業用施設	169	1,786,000	22	0	909,463	907,644
	計	529	2,138,000	67	0	1,090,096	1,083,581
長和町	農地	326	377,000	21	0	41,406	39,004
	農業用施設	310	1,265,000	56	7	935,873	921,834
	計	636	1,642,000	77	7	977,279	960,838
青木村	農地	20	19,000	5	0	7,233	7,052
	農業用施設	8	10,000	1	0	4,719	4,700
	計	28	29,000	6	0	11,952	11,752
管内計	農地	892	891,000	74	0	241,383	232,736
	農業用施設	780	5,570,000	109	7	2,978,475	2,894,893
	農業集落排水	1	20,000	1	0	7,326	3,663
	計	1,673	6,481,000	184	7	3,227,184	3,131,292

### (2) 令和3年災害からの復旧

【令和5年5月26日時点】(単位：千円)

市町村	区分	被害額		災害復旧事業			
		箇所	事業費	箇所	実施中	事業費	内国費
上田市	農地	16	8,700	—	—	—	—
	農業用施設	57	193,800	3	1	48,631	45,373
	計	73	202,500	3	1	48,631	45,373
東御市	農地	17	22,000	2	0	3,477	3,091
	農業用施設	24	21,000	1	0	7,150	7,078
	計	41	43,000	3	0	10,627	10,169
長和町	農地	6	17,000	—	—	—	—
	農業用施設	14	9,000	1	0	3,784	3,663
	計	20	26,000	1	0	3,784	3,663
管内計	農地	39	47,700	2	0	3,477	3,091
	農業用施設	95	223,800	5	1	59,565	56,114
	計	134	271,500	7	1	63,042	59,205



# 林 務 課

# 1 森林の概要

## (1) 森林面積

上田地域の森林面積は65,472haで、森林率(総面積に占める森林の割合)は72.3%(県全体:78.0%)となっている。民有林の人工林率(国有林以外の森林のうち人工的に植栽等が行われた森林の割合)は54.5%(県全体:48.7%)と比較的高くなっている。(単位:ha、%)

区分	総面積	森林面積						森林率	民有林の人工林率
		国有林	民有林				合計		
			人工林	天然林	その他	計			
上田市	55,204	12,169	13,806	12,681	620	27,107	39,276	71.1	50.9
東御市	11,237	3,754	1,062	836	25	1,923	5,678	50.5	55.2
長和町	18,386	8,238	4,828	2,670	104	7,602	15,839	86.1	63.5
青木村	5,710	984	2,299	1,349	47	3,695	4,679	81.9	62.2
計(A)	90,537	25,145	21,995	17,536	796	40,327	65,472	72.3	54.5
県計(B)	1,356,160	370,053	334,851	333,457	18,799	687,107	1,057,159	78.0	48.7
(A)/(B)	6.7	6.8	6.6	5.3	4.2	5.9	6.2	—	—

## (2) 民有林の樹種別面積

アカマツが22.3%、カラマツが31.7%を占め、2樹種で過半を占めている。アカマツの占める割合は県全体と比較して大きく上回っており、アカマツへの依存度が高い。

区分	単位	スギ	ヒノキサワラ	アカマツ	カラマツ	その他針葉樹	広葉樹	計
人工林	ha	1,963	1,919	5,060	12,543	119	391	21,995
天然林	ha	3	3	3,745	9	83	13,693	17,536
計	ha	1,966	1,922	8,805	12,552	202	14,084	39,531
構成比	%	5.0	4.9	22.3	31.7	0.5	35.6	100.0
県計	ha	55,333	51,942	90,915	178,333	15,268	276,517	668,308
構成比	%	8.3	7.7	13.6	26.7	2.3	41.4	100.0

## (3) 民有林における人工林の林齢別面積

森林の高齢林化が進み、51年生以上が全体の81.1%を占めている。

区分	単位	林齢(年生)						計
		20以下	21~30	31~40	41~50	51~60	61以上	
上田地域	ha	275	414	1,374	2,091	7,055	10,785	21,994
構成比	%	1.3	1.9	6.2	9.5	32.1	49.0	100.0
県計	ha	2,647	5,083	15,895	39,962	103,260	168,004	334,851
構成比	%	0.8	1.5	4.8	11.9	30.8	50.2	100.0

## (4) 個人有林における森林所有規模別の林家数

森林所有面積が1ha以下の林家数が全体の72.4%を占め、県全体の66.7%を上回っている。

区分	単位	所有面積規模(ha)					計
		1以下	1.01~5	5.01~10	10.01~20	20超	
上田地域	林家数	9,032	2,872	412	133	33	12,482
構成比	%	72.4	23.0	3.3	1.0	0.3	100.0
県計	林家数	111,271	42,429	8,287	3,507	1,273	166,767
構成比	%	66.7	25.4	5.0	2.1	0.8	100.0

出典：(1)~(4) 長野県民有林の現況(令和4年9月)

## (5) 林業生産額の状況

管内の令和3年度の林業生産額（推定）は13億2810万円で、全県の9.8%を占めている。

令和3年度の木材生産については、令和2年の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少した生産量が、元に戻るとともに、木材の単価が上がり生産額が増加した。

【令和3年度 林業生産額(推定)】 ※ 全県については令和元年度（令和2年度分は集計中）

種類	生産量			生産額（単位：百万円）				備考
	単位	全県	上田	全県	上田	占有率	構成比	
木材	千m <sup>3</sup>	460	60	6,466	840	14%	63%	国有林を含む
木炭等	トン	29	3	8	1	16%	0%	竹炭、木酢液、竹酢液を含む
薪	層積 m <sup>3</sup>	24,941	59	209	2	1%	0%	
特用林産物	トン	8,859	817	6,513	485	7%	35%	くり、くるみは含まれない
林業用苗木	千本	2,013	—	330	—	0%	—%	
計				13,528	1,328	10%	100%	

出典：令和3年度長野県林業統計書

## 2 林業の振興対策について

### (1) 林業従事者等の現状

管内の林業従事者は、平成25年度をピークに減少傾向にあり、令和3年度も前年度に比べ7人（対前年度比94%）減少し、123人となった。

信州上小森林組合は、管内の林業従事者全体に対する区分比が43%（全県の森林組合平均32%）と高く、地域の中核的な事業体としての役割を果たすことが期待されており、今後とも人材の確保・育成等を強化していくことが求められている。

他の事業体についても、森林整備事業への従事を促進するため、引き続きセミナーや研修等を開催し、担い手の雇用による体制の強化や質的向上を図っていく。

#### ア 林業事業体、従事者の現状

（単位：体、人）

区分	事業体数		従事者数		区分比		
	管内	全県	管内	全県	管内	全県	
森林組合	1	18	53	480	43	32	
会社	林業	6	84	38	705	31	47
	その他	4	22	17	106	14	7
個人営業体	3	32	15	93	12	6	
その他(市町村・財産区・協同組合・NPO)	0	13	0	115	0	8	
合計	13	169	123	1,499	100	100	

出典：令和4年度林業事業体等調査（調査対象年度：令和3年度）

#### イ 森林組合の概要

（単位：人、千円）

組合名	年度	組合員数	事業取扱高	常勤役職員数	技能職員数
信州上小森林組合	合併時(H7年度)	8,427	1,996,523	36	101
	H14年度	8,365	1,974,258	31	86
	H21年度	8,229	1,197,228	27	64
	H30年度	8,153	1,141,952	29	76
	R元年度	8,120	1,191,498	28	62
	R2年度	8,088	1,157,054	25	56
	R3年度	8,070	991,325	28	53
県平均	R3年度	4,615	444,474	16	28

出典：令和4年度等の森林組合一斉調査（調査対象年度：令和3年の各森林組合の事業年度）

## (2) 県産材の利用促進

長野県県産材利用指針に基づき、公共施設等における県産材の利用を促進するとともに、型枠や杭など公共土木事業への積極的な使用を関係機関と連携して推進している。

また、長野県森林づくり県民税（地消地産による木の暮らしづくり事業）を活用し、保育所等の「子どもの居場所」の木造・木質化や木のおもちゃの設置等を促進している。

さらに、令和3年4月に上小森林認証協議会が森林認証（SGEC）を再取得（更新）し、認証森林の適正管理と認証材の生産・流通に取り組んでいる。

### ア 「子どもの居場所」木質空間整備事業（令和4年度事業実績） （金額単位：円）

市町村	事業主体	事業内容	事業費	補助率	補助金額
上田市	長野トヨタ(株)	木のおもちゃ設置	420,000	3/4以内	315,000
上田市	上田市	木のおもちゃ設置	483,230	3/4以内	362,418
東御市	(有)田中製材工業	木造・木質化 木のおもちゃ設置	4,192,400	1/2以内 3/4以内	2,567,944
計			5,824,630		3,245,362

### イ ウッドチェンジ普及促進支援整備事業（令和4年度事業実績） （金額単位：円）

市町村	事業主体	事業内容	事業費	補助率	補助金額
東御市	(有)田中製材工業	信州木材認証材DIY用ツーバイ規格材の開発ほか	2,752,988	1/2以内	1,331,000
長和町	齋藤木材工業(株)	カラマツ集成材を使用した家具の開発等	2,680,000	1/2以内	1,340,000
計			5,432,988		2,671,000

### ウ 上田地域のSGEC認証森林

上小森林認証協議会会員	森林の名称	※森林面積 (ha)
上田市	上田市有林	2,635.63
	上田市東御市真田共有財産組合有林	1,574.49
	武石財産区有林	1,246.98
東御市	東御市有林	38.71
	滋野財産区有林	23.45
長和町	長和町有林	1,400.52
	古町財産区有林	215.45
	大門財産区有林	1,155.56
	長久保財産区有林	130.54
青木村	青木村有林	33.22
	青木村及び上田市共有財産組合有林	439.12
長野県	長野県営林（上田地域分）	540.59
信州上小森林組合	信州上小森林組合有林	8.63
計		9,442.89

※ 第1期森林認証は平成28年4月に8,971haで取得、第2期森林認証は令和3年4月に9,442haで更新



## エ 県産材加工体制の整備の推進

(金額単位:千円)

区 分	事業主体	市町村	施設整備内容	事業費	補助金額
H29年度 (H28補正)	小林木材(株)	長和町	帯のご盤、 複合オートテーブル	32,697	13,800
H30年度 (H29補正)	齋藤木材工業(株)	長和町	マイクロ波水分計、 モルダ等	64,476	29,222
R元年度	信州ウッドチップ(株)	東御市	ログローダ、 グラップルクレーン等	190,351	25,916
R4年度 (R5～繰 越)	齋藤木材工業(株)	長和町	加工ライン 1式	161,200	80,600

## 3 林業・山村の活性化対策について

### (1) 野生鳥獣による被害発生状況

令和3年度の野生鳥獣による農林業被害額は約4,760万円、対前年比89.8%で、内容は獣類の被害額が約2,446万円と全体の51%となっている。この被害対策として、捕獲及び侵入防止柵設置等を実施している。

#### 【野生鳥獣別の被害額】

(単位:ha、千円)

区 分	令和2年度		令和3年度		主な被害作物		
	被害面積	被害額	被害面積	被害額			
農 業	鳥 害	スズメ	151.7	5,102	145.8	4,070	水稻
		カラス	71.3	17,875	59.3	16,677	果樹
		ヒヨドリ	38.2	1,305	33.5	1,009	果樹
		ハト	17.3	633	9.0	565	果樹
		その他鳥類	16.4	864	13.8	864	野菜、豆類
		小計	294.9	25,779	261.4	23,185	
	獣 害	ツキノワグマ	4.1	2,395	1.3	900	果樹、野菜
		イノシシ	53.2	6,405	20.7	2,872	果樹、いも類、野菜
		ニホンジカ	100.0	7,722	86.0	10,315	水稻、野菜、豆類、果樹
		カモシカ	2.9	756	0.8	139	野菜、果樹
		ハクビシン	56.8	8,470	56.9	8,607	果樹、野菜
		その他獣類	17.0	1,411	7.5	993	果樹、野菜
計	234.0	27,159	173.2	23,826			
計	528.9	52,938	434.6	47,011			
林 業	獣 害	ニホンジカ	0.25	64	0.4	594	アカマツ、ヒノキ
		イノシシ	0	0			
	計	0.25	64	0.4	594		
計	529.2	53,002	435.0	47,605	対前年比89.8% R3県全体の6.5%		
長野県全体		742,308		730,637			

出典：林務課、農業農村支援センター資料

### (2) 野生鳥獣による被害対策の状況

野生鳥獣による農林業被害は、経済的な損失はもとより、地域住民へ精神的なダメージを与えていることから、市町村が行う捕獲などを支援するほか、平成19年度から林務課、農業・農村支援センター、商工観光課、環境課からなる野生鳥獣被害対策チームを組織し、市町村と連携しながら、被害集落に対して電気柵設置など「集落ぐるみの被害対策」に取り組んでいる。

ア 野生鳥獣総合管理対策事業の実績及び計画

(単位：千円)

事業種目	令和4年度実績			令和5年度計画		
	事業内容	事業費	補助金額	事業内容	事業費	補助金額
広域捕獲支援	-	-	-	1式	575,500	245,500
ツキノワグマ学習放獣	21頭	1,653,990	826,000	28頭	2,275,800	1,137,600
銃猟者確保・育成支援	-	-	-	3名	90,000	45,000
捕獲檻等購入支援	30基	184,800	92,000	30基	184,800	88,300
鳥獣被害対策実施隊員支援	232名	313,200	156,000	303名	478,300	238,950
計		2,151,990	1,074,000		3,604,400	1,755,350

イ 鳥獣被害防止総合対策交付金の実績及び計画

(単位：千円)

事業種目	令和4年度実績			令和5年度計画		
	事業内容	事業費	補助金額	事業内容	事業費	補助金額
緊急捕獲活動 支援事業 (個体数調整)	シ 2,462頭	38,728	17,027	シ 2,499頭	39,838	17,493
	イシ 110頭	1,690	769	イシ 288頭	4,946	2,296
	ハビシ 240頭	831	240	ハビシ 165頭	590	165
	カラス 1,070羽	535	214	カラス類 1,100羽	550	220
	サギ類 0羽	0	0	サギ類 30羽	6	6
	カワウ 0羽	0	0	カワウ 20羽	4	4
合計		41,784	18,250		45,934	20,184

ウ 野生鳥獣の捕獲状況

(単位：頭、羽)

事業種目	令和2年度			令和3年度		
	狩猟	有害鳥獣駆除 ・個体数調整	計	狩猟	有害鳥獣駆除 ・個体数調整	計
スズメ類	78	23	93	135	0	135
カラス類	3	1,606	1,609	0	1,639	1,639
ハト類	48	13	61	46	0	46
その他鳥類	187	61	248	202	37	239
鳥類計	316	1,657	1,973	383	1,676	2,059
ニホンジカ	213	2,732	2,945	399	2,897	3,296
ツキノワグマ	2	48	50	0	9	9
カモシカ	非狩猟獣	4	4	非狩猟獣	4	4
イノシシ	21	248	269	60	127	187
その他獣類	56	1,005	1,061	35	871	906
獣類計	292	4,037	4,329	494	3,908	4,402

出典：林務課資料

(3) 特用林産物振興対策

農山村における貴重な現金収入源である特用林産物の生産振興を図るため、生産者研修会の開催などにより生産者の事業活動強化を図っている。

【特用林産物生産量の推移】

(単位：きのこ類・木炭等・山菜類 トン、薪 百積層m<sup>3</sup>、%)

区 分	H30 年度		R 元年度		R 2 年度		R 3 年度		前年度比	
		全県		全県		全県		全県		全県
きのこ類	657	5,571	829	7,294	867	7,146	807	8,744	93	122
ナメコ	643	3,881	777	4,267	845	4,355	784	5,687	93	131
マツタケ	1.4	42	0.9	6.9	1.0	8.6	2.1	31.8	210	370
生シイタケ	12	1,640	50.7	3,020	21	2,782	19.3	3,017	92	108
木炭等	4.5	49	2.2	25.6	3.2	37.5	3.2	28.9	100	77
薪	0.6	135	0.5	146	0.4	114	0.6	249	150	132
山菜類	7.4	107	13.2	55	10.5	112	10.5	99	100	88

出典：令和3年度長野県林業統計書

(4) 森林環境教育の推進

次代を担う子供たちや地域住民に、身近な森林や森林資源を活用した活動等を通じて健全な森林の育成に対する意識の高揚を図っている。

ア みどりの少年団の現況(令和5年4月現在)

(単位：団、人)

地区	団数	小学生	中学生	計	活動内容等
上 田	11	1,253	0	1,253	地区森林祭、交流集会等への参加 キノコ栽培、木工体験、森林教室等の実施
県全体	179	19,785	3,487	23,272	県全体数字はR4年4月現在

イ 森林環境教育に係る森林づくり県民税活用事業の実績

区分	事業名	事業主体名	活動内容
H29	木育推進事業(木育活動型)	上田市立傍陽小学校	学校周辺の森林を活用した森林学習他
H30	木工体験活動支援事業	(公財)身体教育医学研究所	県産材を活用した木工体験活動
	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R 元	木工体験活動支援事業	上田市立南小学校	県産材を活用した木工体験活動
R 2	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R 3	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備
R 4	学校林等利活用促進事業	上田市立菅平小・中学校 学校林管理委員会	学校林の環境整備

4 森林整備について

(1) 森林整備の推進

森林資源の循環、森林の有する多面的機能の持続的発揮を図るため、路網整備や高性能林業機械の導入等も進めながら主伐・再造林や搬出間伐を主体とした森林整備を推進しており、素材生産量もある。

【素材生産量の推移】

(単位：m<sup>3</sup>)

区 分		H20①	H25	H30	R 2②	R③	③／②	③／①
全 県	国有林	136,354	183,927	216,592	180,741	200,230	110.8%	146.8%
	民有林	169,010	284,078	354,584	338,194	352,912	104.4%	208.8%
	計 A	305,364	468,005	571,176	518,935	553,142	106.6%	181.1%
上 田 地 域	国有林	28,591	24,489	49,846	21,658	20,942	96.7%	73.2%
	民有林	19,378	32,123	39,216	22,581	38,812	171.9%	200.3%
	計 B	47,969	56,612	89,062	44,239	59,754	135.1%	124.6%
	B／A	15.7%	12.1%	15.6%	8.5%	10.8%	—	—

出典：長野県木材統計（暦年実績）

(2) 里山整備の推進

長野県森林づくり県民税を活用して集落周辺の里山の整備も進めており、平成30年度（第3期森林税）からは「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山整備を支援している。

ア 里山整備方針の「防災・減災」優先整備箇所（令和5年5月時点）

市 町 村 名	上 田 市	東 御 市	長 和 町	青 木 村	計
優先整備箇所数	33箇所	15箇所	24箇所	14箇所	86箇所
対象区域森林面積	377 ha	134 ha	198 ha	136 ha	845 ha

イ 上田地域の里山整備利用地域認定状況（令和5年5月末現在）

認定年月日	市町村名	地域名	活動を推進する地域団体の名称
30年10月25日	上 田 市	霊泉寺温泉	霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクト
〃	〃	飯 沼	里山環境整備プロジェクトチーム
31年3月19日	青 木 村	村 松 西	村松西地区里山整備利用推進協議会
〃	上 田 市	鹿教湯温泉	鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクト

(3) 松くい虫防除対策の推進

管内の松くい虫被害は、昭和59年に上田市で確認以来、4市町村で発生しており、令和4年度の被害量は8,213 m<sup>3</sup>(対前年度比90%)で、県全体の17.1%を占め、松本地域に次ぐ被害量となっている。(R5年3月末速報値)

平成14年度までは被害木の全量駆除を実施したが、平成15年度からは「守るべき松林」及び「周辺松林」において「集中と選択」により、被害木の伐倒駆除や樹種転換等の防除対策を集中的・効果的に実施している。

ア 被害の推移

(単位：m<sup>3</sup>、%)

区 分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
上 田 管 内	24,654	21,733	21,342	16,454	12,194	9,144	8,213
長 野 県	73,085	74,049	71,996	70,440	64,022	51,443	48,080
対全県比率	33.7	29.3	29.6	23.4	19.0	17.8	17.1

(R5年3月速報値)

イ 防除対策の実績

(単位：材積 m<sup>3</sup>、面積 ha)

区 分	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
伐倒駆除材積	10,781	9,136	8,698	7,014	5,048	4,036	3,839
地上散布面積	29	20	0	0	0	0	0
樹幹注入面積	6	6	4	2	1	1	1
樹種転換面積	5	3	13	9	5	13	14

(4) 林地保全対策の推進

山地災害から住民の生命、財産を守り、森林の公益的機能に対する社会的要請に対応するため、災害の防止や水源かん養等の機能の確保・向上を目的に治山事業を実施している。

また、保安林機能の維持増進のため、保安林の適正な配備を行うとともに、保安林整備事業を実施している。

【令和4年度実績見込及び令和5年度計画】

(単位：箇所、千円)

事業名	令和4年度実績見込		令和5年度計画		対前年度比	
	箇所	事業費	箇所	事業費	箇所	事業費
復旧治山			1	170,000		
緊急治山総合	2	57,467				
緊急予防治山	1	120,010				
保育	2	9,009	1	1,980		
予防治山	3	95,304	1	42,900		
林地荒廃防止	6	124,014	3	117,700		
公共計	14	405,804	6	332,580	43%	82%
県単治山	5	18,128	4	12,198	80%	67%
計	19	423,932	10	344,778	53%	81%

(注) 1 実績見込は、翌年度への繰越を含み、前年度からの繰越を含まない。

2 令和5年度計画は、令和6年度債務負担額を含む。

3 箇所数は、契約数(工事、委託)を記載

【令和5年度公共治山事業計画箇所一覧】 ※予算区分は全て令和5年度当初予算

番号	事業名	市町村名	箇所名	新・継	工種
1	復旧治山	上田市(丸子)	山ノ神	継	溪間工 0.04ha 谷止工(コンクリート) 1個 1,450 m <sup>2</sup>
2	保育	上田市	渋田見	継	森林整備(本数調整伐 4.45ha)
3	予防治山	上田市(丸子)	寺沢	新	山腹工 0.40ha 落石防護工(落石防護柵) 80m
4	林地荒廃防止	上田市(丸子)	金棒沢	新	谷止工(コンクリート) 1個 77m <sup>3</sup>
5	林地荒廃防止	上田市(真田)	角間	新	床固工(コンクリート) 1個 270m <sup>3</sup>
6	林地荒廃防止	上田市(武石)	小原	新	床固工(コンクリート) 3個 300m <sup>3</sup>
7	県単治山	上田市	岳ノ尾・大谷	新	地すべり防止施設点検巡視 維持管理
8	県単治山	上田市(丸子)	東沢	新	測量・設計一式
9	県単治山	東御市	布下	新	測量・設計一式
10	県単治山	長和町	本沢	新	測量・設計一式

## 5 令和元年東日本台風による山地及び林道災害について

### (1) 被害の概要

管内の被災状況は、千曲川以南の上田市塩田、丸子、武石及び長和町を中心に山地災害と林道災害が発生した。

### (2) 被災状況

#### 【治山関係】

(単位：箇所、ha、千円)

市町村	箇所数	面積	被害額
上田市	14	2.33	365,061
東御市	4	0.37	12,000
計	18	2.70	377,061

#### 【林道関係】

(単位：箇所、m、千円)

管理者		路線数	箇所数	延長	被害額
市町村	上田市	76	237	6,125	329,841
	うち公共災害	24	33	1,965	268,991
	東御市	1	4	60	1,200
	長和町	31	144	5,298	193,416
	うち公共災害	8	21	1,893	153,916
	青木村	3	12	491	19,956
	うち公共災害	1	1	91	17,156
	計	111	397	11,974	544,413
	うち公共災害	33	55	3,949	440,063
	県(県有林)	3	21	542	25,811
うち公共災害	3	6	112	20,811	
合計	114	418	12,516	570,224	
うち公共災害	36	61	4,061	460,874	

### (3) 復旧状況

- 治山関係(県営事業：8箇所、事業費220,000千円)は、令和2年度から本格復旧に着手し、災害関連緊急治山事業(3箇所、事業費207,669千円)や県単治山事業(5箇所、事業費12,331千円)により令和3年度に完了した。
- 林道関係のうち県営事業(県有林分)は、令和2年度から本格復旧に着手し、林道災害復旧事業(3箇所、事業費20,811千円)により令和3年度に完了した。
- 林道関係のうち補助事業(市町村管理分)は、被害のあった111路線のうち公共災害として採択された36路線について、林道災害復旧事業により令和2年度から本格復旧に着手し、令和3年度末で35路線完了した。残りの1路線については、令和5年度中の復旧を目指す。  
なお、補助対象外となった78路線については、市町村が自力事業等により対応。

# 商 工 觀 光 課

# 1 商工業・観光の概況

新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中で、ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた事業者支援や観光振興が課題となっている。

製造業は、業種や製品分野により業況に差はあるものの、景気回復傾向が続いてきたが、原材料の価格高騰やエネルギーコストの上昇等により、回復の動きに一服感が見られる。

小売業は、客足は少しずつコロナ禍前の状況に戻りつつあるが、仕入れ値やエネルギー価格の高騰の影響が大きく、厳しさが続いている。

観光は、感染症による行動制限が緩和されたことにより、需要は回復してきており、影響の大きかったスポーツ合宿やスキー旅行も回復傾向となっている。

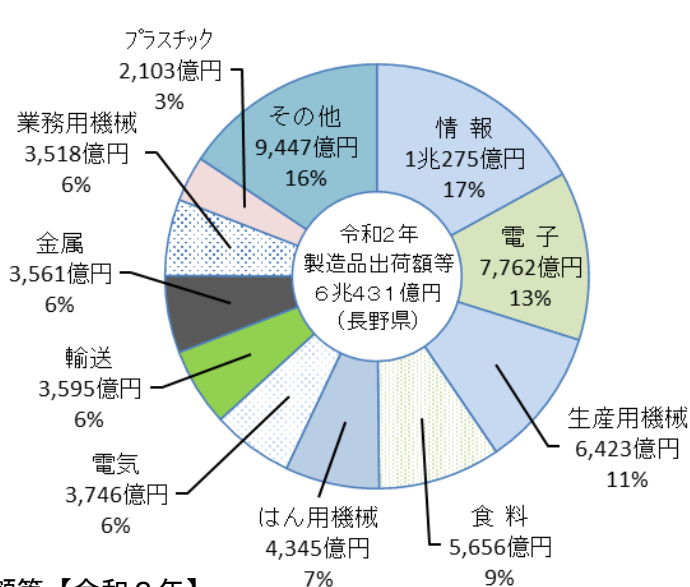
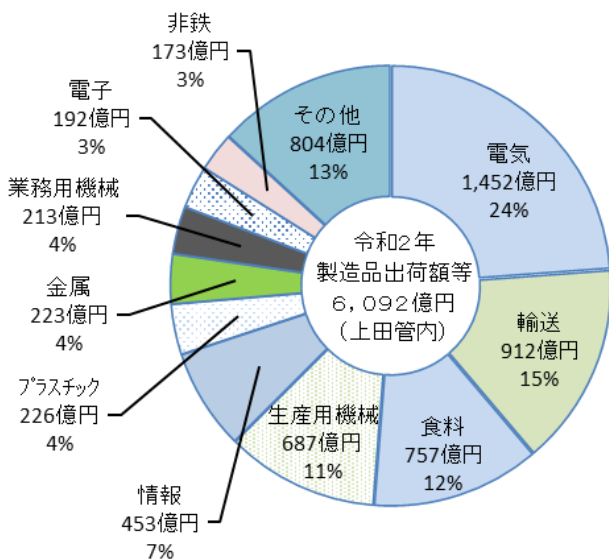
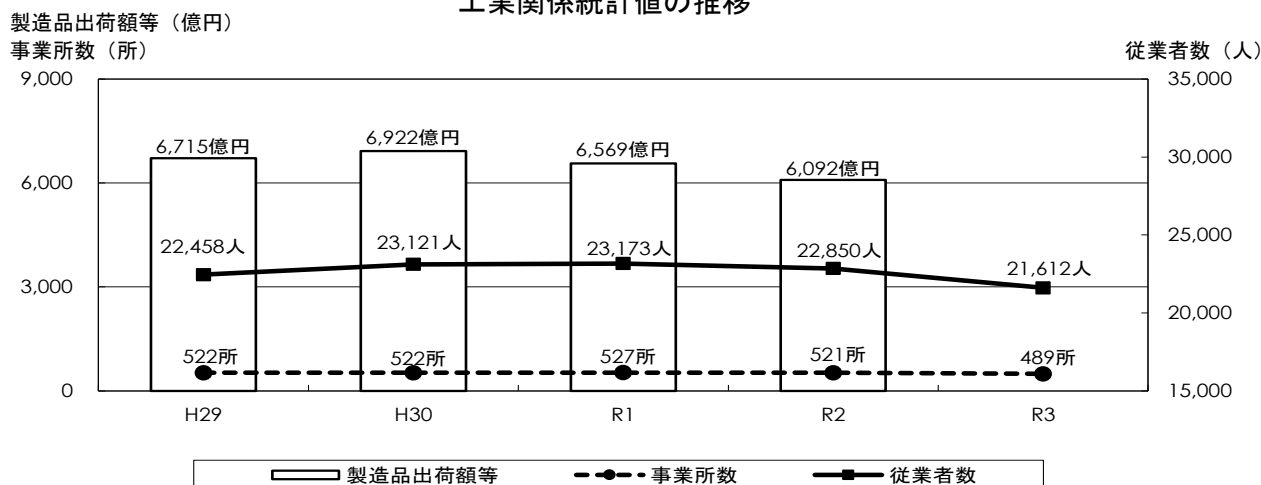
## (1) 工業の現況

(工業統計調査 (令和元年、令和2年)、経済センサス-活動調査 (令和3年))

区分	種別	事業所数 (所)			R3/R2	従業者数 (人)			R3/R2	製造品出荷額等 (億円)			R2/R1
		R1	R2	R3	(%)	R1	R2	R3	(%)	H30	R1	R2	(%)
管内		527	521	489	93.9	23,173	22,850	21,612	94.6	6,922	6,569	6,092	92.7
全県		4,825	4,767	4,825	101.2	204,917	202,222	198,141	98.0	64,659	61,578	60,431	98.1
対全県比 (%)		10.9	10.9	10.1	—	11.3	11.3	10.9	—	10.7	10.7	10.1	—

※令和3年経済センサス-活動調査は、事業所数、従業者数は令和3年6月1日現在、製造品出荷額等は令和2年の数値

### 工業関係統計値の推移



業種別製造品出荷額等【令和2年】



(2) 商業の現況

(経済センサス-活動調査)

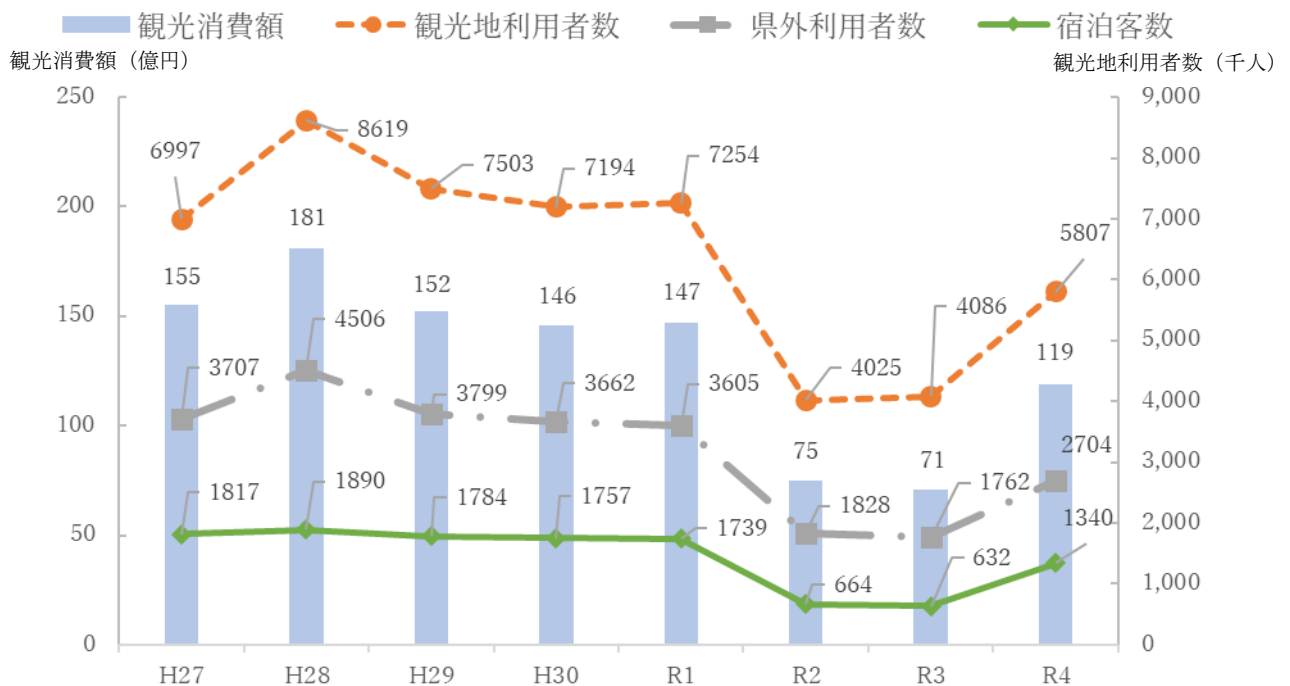
年 区分	平成28年			令和3年			前回比 (%)		
	商店数	従業者数	販売額	商店数	従業者数	販売額	商店数	従業者数	販売額
	(店)	(人)	(億円)	(店)	(人)	(億円)			
管内	1,847	13,942	5,061	1,725	14,146	4,681	93.4	101.5	92.5
対全県比 (%)	8.9	9.5	9.2	8.8	9.5	8.7	—	—	—
全県	20,725	146,166	54,771	19,707	149,016	53,957	95.1	101.9	98.5

(3) 観光の現況

(長野県観光地利用者統計調査・令和4年は速報値)

年 区分	令和3年				令和4年				前年比 (%)	
	観光地利用者数(千人)			消費額 (億円)	観光地利用者数(千人)			消費額 (億円)	利用者数	消費額
	うち 宿泊	うち 県外	うち 宿泊		うち 県外					
管内	4,086	632	1,762	71	5,807	1,340	2,704	119	142.1	167.6
対全県比 (%)	7.8	4.0	5.5	3.9	令和5年8月頃 公表予定					
全県	52,589	15,913	32,174	1,832						

観光関係統計値の推移



## 2 商工業・観光の事業実績

中小企業の資金調達、経営・技術力向上、販路開拓、人材育成・確保や観光地の誘客活動等を支援するため、市町村や商工団体、(公財)長野県産業振興機構、県工業技術総合センター等と連携し、各種事業を実施した。主な事業実績は次のとおり。

### (1) 県中小企業融資制度資金のあっせん状況

資金の別		令和3年度		令和4年度			
		貸付件数 (件)	貸付金額 (千円)	貸付件数 (件)	前年度 比%	貸付金額 (千円)	前年度 比%
小規模企業発展資金		9	43,700	8	88.9	25,230	57.7
経営健全化 支援資金	経営安定対策	1	10,000	1	100.0	19,110	191.1
	特別経営安定対策	3	52,070	0	-	0	-
	防災・安全対策	0	0	0	-	0	-
	災害対策	0	0	0	-	0	-
	新型コロナウイルス 対策	294	2,876,820	290	98.6	3,159,910	109.8
信州創生推進資金	創業支援向け	89	399,570	92	103.4	442,290	110.7
	事業承継向け	3	54,870	16	533.3	183,150	333.8
	IT産業向け	0	0	2	皆増	8,000	皆増
	事業展開向け	3	65,000	7	233.3	214,290	329.7
	地域活性化向け	3	20,000	0	-	0	-
	企業立地向け	0	0	0	-	0	-
	ゼロカーボン・ 次世代産業向け	8	99,790	2	25.0	23,000	23.0
	海外展開向け	0	0	0	-	0	-
経営改善サポート資金		3	104,800	8	266.7	253,300	241.7
管内計	設備	114	1,038,198	154	135.1	1,598,840	154.0
	運転	302	2,688,422	272	90.1	2,729,440	101.5
	計	416	3,726,620	426	102.4	4,328,280	116.1
対全県比(%)		14.6	13.3	13.4	-	12.2	-
県計		2,850	27,949,350	3,168	111.2	35,482,080	127.0

### (2) 企業立地促進支援の状況

#### ① 企業立地動向(※太陽光発電除く)

区分	年	令和3年		令和4年	
		件数(件)	面積(ha)	件数(件)	面積(ha)
管内		2	5.1	2	0.4
対全県比(%)		6.1	12.7	6.3	1.1
全県		33	40.1	32	36.6

② 県産業投資応援条例による支援

ア 不動産取得税の課税免除

区分	年度	令和3年度		令和4年度	
		件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)
管内		0	0	0	0
対全県比(%)		-	-	-	-
全県		0	0	1	27,930

イ 県産業投資応援助成金の認定

区分	年度	令和3年度		令和4年度	
		件数(件)	助成予定額(億円)	件数(件)	助成予定額(億円)
管内		2	6.3	1	2.5
対全県比(%)		14.3	37.7	6.3	14.1
全県		14	16.7	16	17.7

③ 地域経済牽引事業計画の承認

区分	年	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		件数(件)	件数(件)	件数(件)
管内		4	2	1
対全県比(%)		13.3	6.3	3.1
全県		30	32	32

(3) ワイン振興の実施状況

千曲川ワインバレー特区協議会の取組を支援するとともに、地域振興推進費を活用し、管内で生産されたワインの消費拡大を推進。

(R4年度の取組)

① 新聞折込広告の実施

お歳暮やクリスマスの時期に合わせ、ワインのギフト活用を提案するチラシを朝刊に折込み、管内4市町村の新聞購読世帯約56,000世帯に配布。

② ワイン販売情報リーフレットの作成

管内生産者のワインの販売情報をまとめたリーフレットを5,000部発行し、飲食店や県民利用施設等で配布。

③ 産地PRフライヤーの作成

当ワイン産地をPRするフライヤーを10,000枚作成し、ワイン販売店へ配布。

④ 観光キャンペーンでの試飲販売の実施

銀座NAGANOでの観光キャンペーンにおいてワイン試飲販売を実施。

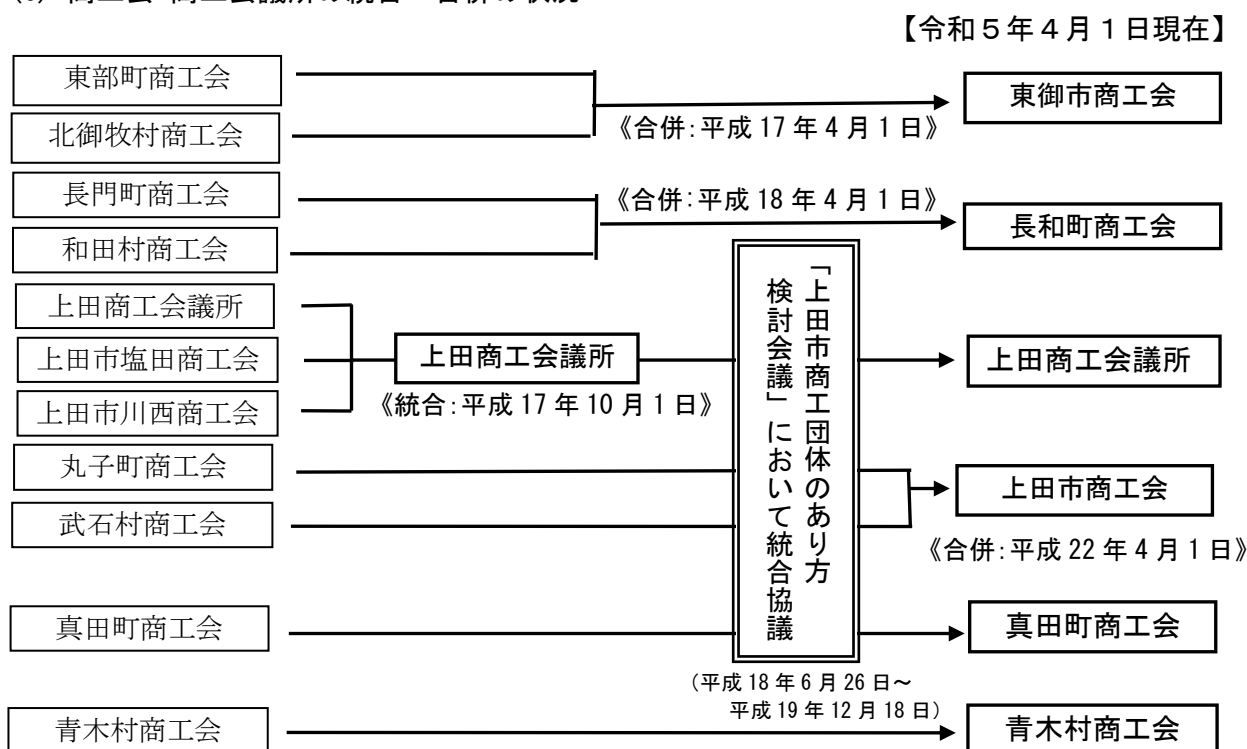
(4) 観光振興対策の実施状況（令和4年度実績）

主要施策	主な事業
1 安全・安心な観光地域づくり	(1) 菅平湯の丸地区山岳遭難防止対策協会 菅平地区救助訓練(春期・秋期)への参加(5月、11月) (2) 上小地区観光客安全対策推進連絡協議会 ア キャンプ場パトロールの実施(7月) イ 上田市独鈷山で遭難再発防止対策の実施(7月) ウ 山岳遭難防止啓発の実施(8月) エ 上小地区冬の観光客安全対策(拡大)連絡会議の開催(11月) オ スキー場安全対策現況調査の実施(11月) カ スキー場パトロールの実施(12月、1月)
2 長期滞在型観光の推進	(1) 各種割引事業の利用促進に向けた周知 ア 信州割SPECIAL イ 信州プレミアム食事券キャンペーン ウ この冬どこ行く?ウェルカム信州アクティビティ割! 等 (2) 上田地域観光キャンペーンの実施 ア 東京:7月9日、10日(銀座NAGANO) イ 山梨:10月26日(山梨県談合坂SA) ウ 大阪:12月19日、20日(大阪駅前第一ビル2F) (3) 上田地域観光プロモーション動画コンテストの実施 募集期間:10月21日～1月31日 募集数:9作品(8名) 受賞者数:最優秀賞1作品、優秀賞4作品 (4) サイクルツーリズムの推進 ア 「Japan Alps Cycling Road」の磨き上げに向けた地域検討会議の開催(9月) イ 上田地域シェアサイクル活用推進協議会への参画及び出席(3月)
3 信州リピーターの獲得	(1) 広域連携の取組の推進 千曲川ワインバレー特区連絡協議会(4市3町1村で構成)による広域連携イベント等との連携・協力 (2) 観光誘客の促進 上田地域観光キャンペーンの実施【再掲】 (3) 観光情報の発信 ア 上信越道東部湯の丸SAの観光情報発信コーナーを運営 イ 長野県魅力発信ブログ「じょうしょう気流」への投稿 ウ 上田地域観光プロモーション動画コンテストの実施【再掲】 (4) スポーツコミッションの推進 上田市トレーニングキャンプ支援交流委員会への参画及び出席(5月) (5) インバウンドの誘客促進 ア 上田地域観光プロモーション動画コンテストの実施【再掲】 イ アで最優秀賞と優秀賞を獲得した動画の英語版を商工観光課公式YouTubeチャンネルに掲載

(5) 就業促進対策の実施状況

- ① 「長野県就業促進・働き方改革戦略会議」上田地域会議の書面開催  
構成団体へ意見照会を実施。各団体とも、人手不足や働き方改革への対応に苦慮しており、それらの対策について、地域会議の中で検討したい旨の意見が多数。
- ② 若者の地域への就業促進事業  
令和2・3年度事業に引き続き地域振興推進費を活用し、上田市内の中学校(2校)に対し、キャリア教育推進のための職場体験及び事前学習会の支援を実施。
- ③ 女性のための就業相談会  
就業や再就職に伴う悩みや不安を抱える女性を対象に、就業支援員や母子・父子自立支援員兼女性相談員による相談会を開催。

(6) 商工会・商工会議所の統合・合併の状況



3 新型コロナウイルス感染症感染拡大による中小企業、観光業への支援実績

(1) 相談体制の充実

令和2年6月に「産業・雇用総合サポートセンター」を設置し、中小企業が国・県の経営・雇用関係の支援策を効果的に活用できるよう、相談から支援策の紹介、申請書の作成・提出までをワンストップで支援した。

(産業・雇用総合サポートセンターの相談対応実績) (件)

相談	内 訳						
	再構築補助金	ものづくり補助金	持続化補助金	IT導入補助金	事業復活支援金	時短営業等に係る協力金	コスト削減助成金
637	448	19	145	10	8	6	1

※産業・雇用総合サポートセンターは、各地域振興局（及び労政事務所）に設置されている。

## (2) 長野県プラス補助金

中小企業の未来（ポストコロナ）に向けた事業再構築やウィズコロナ・ポストコロナを見据えた持続可能な経営形態への転換を支援した。

（長野県プラス補助金の採択状況）

種類 件数・額	内訳				合計
	再構築 補助金	ものづくり 補助金	持続化 補助金	IT 導入 補助金	
採択件数（件）	90	11	42	20	163
県補助額（千円） （予定）	323,400	20,631	6,881	8,562	359,473

※数字は上田地域振興局管内の数(令和5年5月11日現在)

※千円未満で四捨五入しているため内訳の件補助額合算と合計は一致しない

## (3) 信州の安心なお店認証制度

県が定めたチェックリストに沿って新型コロナウイルスの感染症対策を行っている飲食店等を「信州の安心なお店」として認証した。

なお、新規受付は令和5年3月17日をもって停止し、制度自体も同年5月7日をもって終了した。

（令和5年5月7日時点の認証店舗数）

（店）

登録店	内 訳			
	上田市	東御市	長和町	青木村
699	514	69	88	28

# 農業農村支援センター

## 1 管内農業の概要

- ・上田地域は、耕地が標高 420m から 1,300m に立地し、年間降水量が 890 mm 程度と晴天日が多い気象条件を活かし、水稻や畜産の他、果樹や野菜、花きなど多様な品目が生産されている。
- ・農業産出額は令和 3 年度 169 億円。上田市菅平地域の高原野菜、東御市や上田市塩田地区を中心とした生食用ぶどうは品質が高く実需者からの評価も高い。
- ・総農家数は 8,432 戸。このうち自給的農家の割合が 64.8% と県全体の平均値より約 10 ポイント高く、農業就業人口のうち 65 歳以上の占める割合は 69.1% で県全体の平均値より約 4 ポイント高い。
- ・農家戸数の減少や高齢化が進む中、条件の良い水田地帯等では農地中間管理事業の活用等により、担い手への農地集積が進められている。

### (1) 農家戸数及び農業就業人口 (2020 農林業センサス)

市町村	農 家 戸 数				農 業 就 業 人 口		
	総農家数 (戸)	販売農家 (戸)	自給的 農家(戸)	自給的農 家率(%)	総人口 (人)	65 才 未満(人)	65 才 以上(人)
上田市	5,244	1,690	3,554	67.8	2,468	784	1,684
東御市	2,093	1,012	1,081	51.6	1,432	492	940
長和町	624	141	483	77.4	207	84	123
青木村	471	128	343	72.8	150	42	108
地区計	8,432	2,971	5,461	64.8	4,257	1,402	2,940
構成比	100	35.2	64.8	—	100	32.9	69.1
県計	89,786	40,510	49,276	54.9	67,790	23,535	44,255
構成比	100	45.1	54.9	—	100	34.7	65.3

(注) 自給的農家：経営耕地面積が 30 a 未満かつ農産物販売金額が年間 50 万円未満の農家  
 農業就業人口：農業に 60 日以上従事した 15 才以上の世帯員、役員・構成員（経営主含む）の数

### (2) 農産物産出額 (R3 年産)

作物名	作付面積	生産量	産出額			県産出額	管内の占 める割合
				構成比	前年比		
	ha	t, 千本	億円	%	%	億円	%
米	2,698	15,310	32.9	19.4	89	408	8.1
麦類	362	895	0.4	0.2	69	4	10.0
豆・穀類	647	508	1.0	0.6	125	10	10.0
果樹	647	5,181	31.4	18.6	98	609	5.2
野菜	1,374	23,077	31.1	18.4	101	803	3.7
花き	55	12,164	12.4	7.3	108	142	8.7
きのこ類	—	7,744	37.0	21.9	100	469	7.9
畜産	7,277 頭 98 千羽	7,680	21.0	12.4	100	303	6.9
その他	—	—	2.0	1.2	100	69	2.9
計	—	—	169.2	100.0	98	2,817	6.0

(県農産物産出額より)

(注) 端数処理の関係で計と内訳が一致しない場合がある。



(3) 認定農業者等への農地の集積状況 (令和4年3月末現在) (ha, %)

市町村	耕地面積	中核的 経営体	認定農業者等への利用集積状況			集積率	
			認定農業者	集落営農組織他	合計	基本構想 目標	実績
上田市	5,250	314	1,446.9	441.7	1,888.6	60	37.3
東御市	2,360	153	576.6	119.6	696.1	50	28.1
長和町	884	34	114.8	54.6	169.4	45	19.4
青木村	428	27	23.1	135.4	158.5	50	35.1

(長野県・長野県農業再生協議会「農業構造政策推進資料」より抜粋)

(注)集落営農組織他には、基本構想水準到達者、認定新規就農者を含む。端数処理の関係で計と内訳が一致しない場あり。

## 2 事業概要

### (1) 長野県食と農業農村振興計画 上田地域計画の達成指標

<第3期計画(平成30年(2018年)~令和4年(2022年))>

■達成指標 上小テーマ「多様な人材が活躍する、人と食をつなぐ上小農業」

重点 取組	達成指標	計画策定時 (2016年)	目標 (2022年)	実績 (2022年)
1	45歳未満の新規就農者数(年間)	12人	18人	6人
	中核的経営体数	442経営体	523経営体	528経営体
2	県オリジナル品種の普及面積	99ha	279ha	244ha
	国際水準GAPの取得件数	1件	5件	5件
3	ブロッコリー栽培面積	72ha	90ha	83ha
	ぶどう無核化率	48%	78%	78%
	防ひょうネットの設置面積	4ha	100ha	調査中
4	常設農産物直売所の売上額	18億円	22億円	調査中
	「おいしい信州ふード」SHOP登録数	60店舗	74店舗	73店舗
5	ため池の耐震対策実施か所数	0か所	18か所	22か所
	獣害対策用の侵入防止柵の設置延長	259km	310km	調査中
6	多面的機能を維持・発揮するための活動面積	3,725ha	5,315ha	調査中
	ワイン用ぶどうの栽培面積	75ha	110ha	125ha

(上田農業農村支援センター)

<第4期計画(令和5年(2023年)~令和9年(2027年))>

■達成指標 上小テーマ「人・食・地域 つながり輝く上小農業」

重点 取組	達成指標	現状 (2021(R3)年)	計画 (2023(R5)年)	目標 (2027(R9)年)
1	新規就農者数(49歳以下)	7人/年	11人/年	11人/年
	中核的経営体数	529経営体	547経営体	620経営体
2	多目的ネット等の利用面積	59ha	67ha	100ha
	醸造用ぶどうの収穫量	281t	513t	1,200t
	持続性の高い生産方式導入面積	428ha	452ha	500ha
3	県オリジナル品種等の普及面積	293ha	602ha	624ha
	米・ぶどうの輸出量	245t	260t	300t
4	都市農村交流人口	6,576人	12,060人	34,000人
5	防災重点農業用ため池の防災対策工事の着手箇所数	21か所	22か所	29か所
6	学校給食の県産食材利用割合	46%	46.7%	48%
	常設農産物直売所の売上額	20億円	21億円	25億円

(上田農業農村支援センター)

## (2) 産業としての農業の振興

### ア 多様な人材が活躍できる地域と一体となった担い手の確保育成

- ・市町村、JA信州うえだ、農業委員会、上田農業農村支援センター等で上田地域就農促進連絡会議を組織し、就農相談会の開催や次代の担い手となる新規就農者の確保に取り組んでいる。
- ・新規就農者の育成にあたっては、「長野県新規就農里親支援制度」のほか、(有)JA信州うえだファームが実施する研修制度とも就農希望者の情報について十分な連携を図り、就農前の基礎的な栽培技術や各種支援制度の活用方法を習得させ、個々人の適性に合わせた助言・指導を行っている。
- ・市町村等と連携し、農業経営を始めてから経営が安定するまでの一定期間、「農業次世代人材投資事業」により、研修者の就農準備、就農者の早期経営確立に向けた支援を行っている。

### ○新規就農者の状況（45歳未満）

年 度	H28	H29	H30	R 元	R 2	R 3	R 4
新規就農者数（人）	12	20	18	16	12	7	6

### ○長野県新規就農里親制度（里親研修）の修了実績 （人）

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度
管 内	4	2	2	4
長野県	22	28	31	24

（注）研修対象は49歳以下の者。

### 【参考】

### (有)JA信州うえだファーム研修実績 （人）

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度
研修修了者数	6	8	4	12

### ○農業次世代人材投資事業（準備型と開始型）の実施状況 （人）

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度
準備型	4	1	1	1
経営開始型	49	45	47	35

（注）準備型：新規就農に向けて県農業大学校などでの2年間の研修を要する。

年間最大150万円を最長2年間受け取れる（研修中の資金補助）。

経営開始型：市町村が窓口となり、就農直後の経営確立を支援するもの。

年間最大150万円、最長3年間受け取れる（就農後概ね3年間の資金補助）。

### イ 競争力の高い水田農業と園芸産地の振興

- ・需要に見合った主食用米の適正生産に向けて多品目や新規需要米の取組を推進するとともに、収益性の高い園芸品目、県オリジナル品種等の販売力の高い品種への転換や導入を図っている。
- ・上田地域の基幹産業とし期待されるワインについては、ワイン用ぶどう栽培に必要な資材や機器の導入を支援している。

○水田への麦・大豆・そば、新規需要米の作付動向

区分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	前年対比
	ha	ha	ha	ha	%
麦	299.9	301.1	288.5	355.5	123
大豆	257.3	218.7	231.8	298.0	129
そば	198.1	141.8	165.8	192.3	116
新規需要米	58.4	59.8	92.1	104.0	113

(上田農業農村支援センター調べ)

(注) 大豆、そばについては二毛作を含む作付面積。

○販売力の高い県オリジナル品種等の普及状況

〈作物〉

区分	栽培面積 (ha)				前年対比 (%)
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
米 風さやか	110	124	141	142	101
酒米 山恵錦	2	1	5	4	80
大麦 初仆ファイバー	0	10	10	15	150
小麦 ゆめかおり	10	20	20	13	65
	—	—	—	10	—
そば タチアカネ	80	71	70	70	100

(上田農業農村支援センター調べ)

〈果樹〉

区分	令和2年		令和3年		令和4年		前年対比		
	栽培面積	生産量	栽培面積	生産量	栽培面積	生産量	栽培面積	生産量	
りんご	ha	t	ha	t	ha	t	%	%	
	シラルップ	2.0	38.5	2.5	23.9	4.0	69	160	289
	秋映	17	374	18	166	16	252	89	152
	シノスイト	16	300	15	95	14	265	93	279
ぶどう	シノゴールド	7	218	7	106	6.2	125	89	118
	カゴノパール	20	197	20	238	21	215	105	90
	シャインマスカット	57	749	65	840	84	964	129	115
	クイーンルージュ®	7	0	8	5	12	13	150	260
ワイン用品種	108	264	120	281	125	307	104	109	

(上田農業農村支援センター調べ)

〈畜産〉

区分	飼育羽数 (羽)				前年対比 (%)	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
鶏	しなの鶏	2,426	1,927	2,536	2,424	96
	信州黄金シャモ	7,097	9,816	10,368	11,623	112

(園芸畜産課調べ)

## ○ワイン用ぶどうの栽培面積

平成 27 年に千曲川ワインバレー（東地区）特区を取得後、県単事業等を活用して新植、面積拡大が図られている。

区 分	H28	H29	H30	R 元	R 2	R 3	前年度対比
管 内	ha 75	ha 78	ha 85	ha 95	ha 108	ha 120	% 111.1
長野県	254	278	301	344	330	385 (速報値)	116.7
占有割合(%)	29.5	28.1	28.2	26.7	32.7	31.2	—

(上田地域振興局調べ)

## ○産地生産基盤パワーアップ事業等の活用による産地力強化への支援

### 【産地生産基盤パワーアップ事業】

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体	作物名	面積 (ha)	事業内容等	事業費 (千円)	国費 (千円)
元	東御市 (祢津御堂)	2 件	醸造用 ぶどう	6.0	果樹棚の整備	12,977	5,898
2	東御市 (祢津御堂)	8 件	醸造用 ぶどう	13.2	・果樹棚の整備（生産資材の導入（トリス）） ・農業用機械リース導入 （草刈り機 7 台、スピートスプレー 5 台）	56,390	25,627
3	東御市 (祢津御堂)	4 件	醸造用 ぶどう	2.9	・果樹棚の整備（生産資材の導入（トリス）） ・農業用機械リース導入 （スピートスプレー、トラクター、モア、摘芯機、 マルチワゴン、トリマー）	22,768	10,347
3	東御市 (八重原)	1 件	もち性 大麦	—	・農業機械のリース導入 （トラクター 1 台）	10,890	4,950
4	東御市 (滋野、和)	1 件	生食用 ぶどう	—	・ぶどう用冷蔵庫の導入 6 基	14,850	6,750

(上田地域振興局調べ)

### 【強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業】

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体	作物名	面積 (ha)	事業内容等	事業費 (千円)	国費 (千円)
3	上田市 (殿城)	1 件	きゅうり	1240 m <sup>2</sup>	・パイプビニールハウス一式 1240 m <sup>2</sup>	16,628	3,000
3	東御市 (八重原)	1 件	水稻 大豆	各 1 台	・コンバイン、乾燥機、計量機、色彩選別機、 もみ殻中継ファン、大豆選別機	22,402	6,109

(上田地域振興局調べ)

**【農地効率化等支援交付金事業】**

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体	作物名	面積・ 台数	事業内容等	事業費 (千円)	国費 (千円)
4	上田市 (上田東)	1件	ぶどう	3,300 m <sup>2</sup> 一式	・トンネルメッシュ (雨除け施設)	4,145	1,044
4	東御市 (北御牧)	1件	水稻	1台	・田植機 (スマート農機)	4,565	1,245

(上田地域振興局調べ)

**【経営発展支援事業】**

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体	作物名	台数	事業内容等	事業費 (千円)	国費 (千円)
4	上田市 (真田)	1件	野菜	1台	・トラクター	5,056	2,500
4	東御市 (北御牧)	1件	野菜	各1台	・トラクター、モア、管理機	5,272	2,634

(上田地域振興局調べ)

**【信州農業生産力強化対策事業】**

実施年度	市町村名 (地区名)	事業実施主体名	作物名	面積 (a)	事業内容等	事業費 (千円)	県費 (千円)
3	上田市 東御市	(有)信州うえだ ファーム	りんご、ぶど う、なし	141.8	一時的な樹園地の維持管理	3,170	1,409
3	東御市	(有)信州うえだ ファーム	ぶどう	47.9	樹園地の整備に要する経費	5,491	2,495
3	上田市	J A信州うえだ アスパラ部会	アスパラガス	16	雨よけハウス 28棟	6,144	2,500
3	上田市	J A信州うえだ 武石野菜部会	アスパラガス	58	かん水施設 3か所	2,790	1,268
4	上田市 東御市	(有)信州うえだ ファーム	りんご、ぶど う、くるみ	131.7	一時的な樹園地の維持管理	4,775	2,051
4	上田市	J A信州うえだ アスパラ部会	アスパラガス	16	雨よけハウス 18棟	10,307	2,500
4	上田市	J A信州うえだ 武石野菜部会	アスパラガス	16	かん水施設 3か所	1,833	833

### ○ワイン産地づくりへの栽培技術支援

- ・ワイン産地の基盤強化を図るため、生産者の栽培技術向上に向けたセミナーの開催とスマート農業の普及に向けたお試し体験を実施した。

#### ■ワイン用ぶどう生産者技術セミナー

日 時	令和5年1月18日(水) / 令和5年2月22日(水)
場 所	①東御市中央公民館 / ②上田市東山ぶどう団地
内 容	①ぶどうの生態、樹冠管理、病害虫対策について、県外の大規模ワイナリー経営者(生産者)からの講習の他、スマート農業機器の新梢管理機導入による作業効率と経費についての研究成果も研修。 参加生産者32名、関係者13名:計45名 ②管内のワイン用ぶどう生産者のほ場で、病害虫対策の一つの粗皮剥ぎ作業(高圧洗浄機)の実演とCO <sub>2</sub> ゼロエミッションの取組の一つとなる剪定枝無煙炭化器の実演を実施。 参加生産者15名、関係者11名:計26名

#### ■アシストスーツお試し体験会

日 時	令和4年10月12日~14日
場 所	日本ワイン農業研究所「アルカンヴィーニュ」
内 容	・収穫時における作業負担を軽減するため、体験会を実施。 ・アシストスーツの装着性、作業性など労力負担軽減について確認。 10/12 装着説明会参加者4名、10/12~14 体験者10名程度

### (3) 消費者が求める食への対応

#### ア 食の地消地産と農産物直売所の機能強化

- ・農産物直売所の取扱量拡大や品質向上、新規出荷者の育成に向けた指導会を実施している。
- ・各常設農産物直売所が、運営上の課題を共有して解決策を話し合う「魅力アップセミナー」の開催や、課題解決に向けた専門コーディネーターの派遣を行っている。

#### ○常設農産物直売所の売上高と来客者数

年 度	H29	H30	R 元	R 2	R 3	前年度対比
店 舗 数	16	16	17	16	15	94%
売上高(万円)	182,386	207,208	178,243	185,486	196,674	106%
来客数(千人)	—	2,446	2,316	2,341	—	—

(上田地域振興局調)

(注) 店舗数のR元年度からR2年度にかけての1減は、主力の販売品目を大型直売所店への移行による。

R2年度からR3年度にかけての1減は、経営不振による閉鎖によるもの。

H29及びR3の来客数についての調査は無し。

## ○魅力アップセミナー開催、魅力アップ支援

### ■農産物直売所魅力アップセミナー

日 時	令和5年2月10日（金）午後1時30分から午後4時まで
場 所	上田市丸子文化会館
内 容	・講義「インボイス制度について」 長野県農政部農業技術課 副主任専門技術員 高橋 達男
	・事例紹介①「若い世代から見た直売所出荷の魅力」 管内直売所の若手出荷者2名 ・事例紹介②「新たな出荷者の確保と育成について」 上田市丸子農産物直売加工センターあさつゆ 組合長 伊藤 良夫

### ■魅力アップ支援の活動内容

	活動内容	詳 細	
①	専門コーディネーターによる商品棚の欠品対応	長野県よろず支援拠点のコーディネーターと連携。2直売所をモデルに実施。商品棚のりんごなど欠品が出ないように情報共有するなど、補充して売上を確保。	
②	若手出荷者の直売所利用の魅力に関する意見共有	魅力アップセミナーの事例発表やパネルディスカッションから、消費者と直接かかわれることやパッケージの工夫ができること、値段を自分で決められることが魅力であることの再発見。	
③	出荷会員の拡大	9月に関連団体が行う販促イベントに併せて、若手出荷者の勧誘や直売所に対するアンケート調査を実施。	
④	端境期の対策	葉野菜類の栽培試験	冬場の端境期における品不足の課題に対し、5月の連休前に収穫できるキャベツ等の試験栽培を実施。
		野菜保存技術の情報収集	野菜をほ場又は冷蔵庫で冬場保存しておき、3月～4月の端境期に出荷できるよう保存技術について収集する。

## (4) 暮らしの場としての農村の維持

- ・ニホンジカ、いのしし等の鳥獣害による農作物被害を防止するため、市町村対策協議会が取り組む侵入防止策の設置を支援している。
- ・平成12年度から実施している「中山間地等直接支払制度」は、第5期（R2～R6）対策に入っている。農業生産条件の不利益な中山間地域において、集落等を単位に農用地を維持・管理していくための取り決めを締結し、それによって水路や農道の管理など農業生産活動を行う場合に、面積に応じて一定額を交付し、農地や集落など農村の維持に役立てている。

## ○鳥獣被害防止対策交付金実績

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体名	面積 (ha)	事業内容等	事業費（千円）	
						うち国費
2	東御市 (祢津御堂)	東御市有害鳥獣対策協議会	21.9	侵入防止柵 2,113m	4,543	4,543
3	東御市 (祢津御堂)	東御市有害鳥獣対策協議会	6.1	侵入防止柵 670m ネット網 47m	1,920	1,920
4 繰越	長和町 (大門)	長和町有害鳥獣駆除対策協議会	23.0	侵入防止策 5,000m	10,457	1,000

(上田地域振興局調べ)

○中山間地域農業直接支払交付金（令和4年度）

市町村	集落協定	協定参加者	協定面積	交付金（国・県分）
	件	人	ha	千円
上田市	25	572	171.7	23,253
東御市	24	1,355	497.8	76,358
長和町	12	244	120.6	18,000
青木村	21	329	77.8	9,666
計	82	2,500	868.0	127,276

（注）端数処理の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

（上田地域振興局調べ）

（5）長野県価格高騰緊急対策について

原油価格・物価高騰等により多大な影響を受けている農業者の経営を支援するとともに、新型コロナウイルス感染拡大によって縮小した県内経済を活性化するために、令和4年度から実施されている。併せて、中長期的な視点からエネルギーコストの削減など未来につながる取組なども進めている。

【令和4年度実績・5年度計画】

（令和5年4月末現在）

事業名	市町村	事業実施主体	品目	内容
[国事業]				
施設園芸セーフティネット構築事業	東御市	(株)ハルデイン	花き苗	燃料購入費への補填
	東御市	ベルグアース(株)	野菜苗	燃料購入費への補填
[国+県事業]				
配合飼料価格高騰緊急対策事業	管内全域	管内配合飼料購入農家	畜産	国の配合飼料価格安定制度への上乘せ補填
肥料高騰対策事業	管内全域	J A信州うえだ J A佐久浅間 肥料販売業者	肥料	価格肥料の低減に取り組む販売農業者への国の肥料価格高騰対策の上乗せ助成
[県事業]				
施設園芸燃油価格高騰対策設備導入	上田市	(株)パトリオットエンタープライズ	ぶどう	ヒートポンプ、循環扇保温カーテン
農業エネルギーコスト削減促進事業	長和町	(株)長門牧場	酪農	冷凍庫
	上田市	JA信州うえだ	営農	LED照明機器 →5年度へ繰越
養魚用配合飼料価格高騰緊急対策事業(1回目)	上田市	(合資)臼田養魚場	養殖	飼料価格の価格高騰分の補填
きのこ培地資材価格高騰緊急対策事業	管内全域	JA信州うえだ農家13戸	菌茸	培地資材費の価格高騰分の補填
養魚用配合飼料価格高騰緊急対策事業(2回目)	上田市	(合資)臼田養魚場	養殖	飼料価格の価格高騰分の補填 →5年度に実施

（上田地域振興局調べ）



